SHARP®

インターネット液晶ファクシミリ

取扱説明書

Bluetooth™

形名 UX-WB10CL（ユーエックス ダブルビー シーエル）

UX-WB10CW（ユーエックス ダブルビー シーダブル）

かんたんもくじ

やりたいこと別の一覧があります。
2〜5ページをご覧ください。

1 ご使用の前に
2 電話
3 コピー／ファクス
4 留守番電話
5 便利な機能
6 メール ブラウザ Lモード
7 ナンバー・ディスプレイ
8 こまったときは
9 ご参考に

Ni-MH ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

技術基準適合品

かんたんもくじ

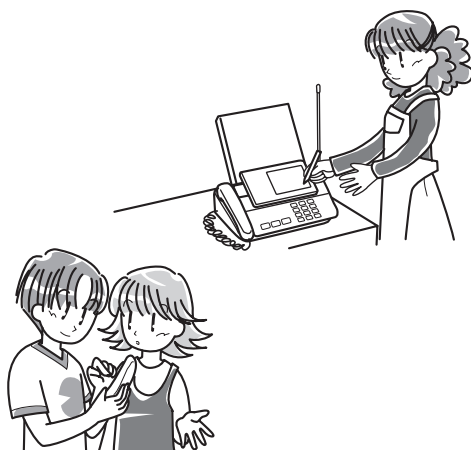
必要な機能をかんたんに、「やりたいこと」から探せます。
実際にお使いになる前には、「安全に正しくお使いいただくために」（☞12～17ページ）を、よくお読みください。

電話

かんたんに電話をかけたい

電話を保留にしたい

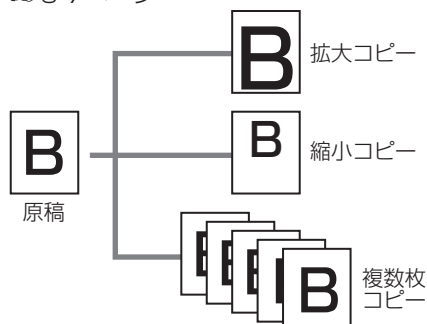
内線で通話したい

よく使う相手先を登録したい

コピー

細かい文字原稿や写真をコピーしたい

●コピー／ファクスするときの画質を選ぶ
☞3-4ページ

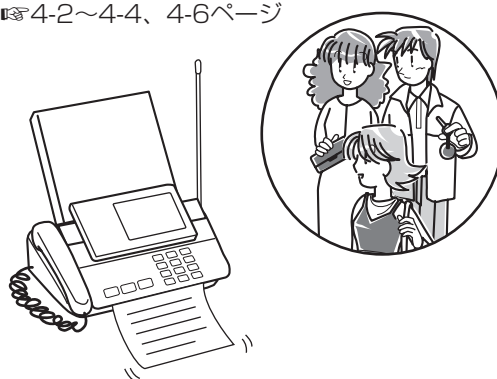
拡大、縮小、複数枚のコピーをしたい

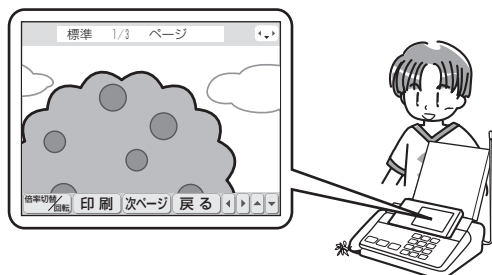
●拡大／縮小／複数枚コピーする
☞3-7ページ

ファクス

かんたんにファクスを送りたい

●見てからダイヤルで送る ☞3-15ページ
●電話帳ダイヤルや再ダイヤルで送る
ワイヤレスカラー液晶 ☞3-12〜3-14ページ
子機 ☞3-16〜3-17ページ

留守中もファクスを受けられるようにしたい

●留守モード
☞4-2〜4-4、4-6ページ

受けたファクスを画面で見たい

●メモリー受信したファクスを画面で見る
（見てからプリント機能）
☞3-25〜3-29ページ

受けたファクスをプリントしたい

●メモリー受信したファクスをプリントする
☞3-30ページ

1 ご使用の前に
2 電話
3 コピー／ファクス コピー ファクス
4 留守番電話
5 便利な機能
6 Lモード メール ブラウザ
7 ナンバー・ディスプレイ
8 こまったときは
9 ご参考に

留守番電話

留守に設定したい

●留守に設定する　☞4-2～4-3ページ
●留守設定を解除する　☞4-5ページ
●ワイヤレスカラー液晶で留守を設定する／解除する
☞4-6ページ

自分で応答メッセージを録音したい

●オリジナル応答メッセージを録音する
☞4-10ページ

便利な機能

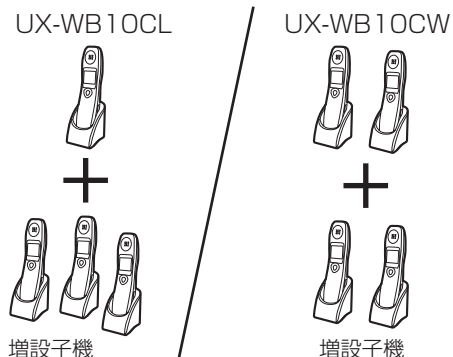
アラームや目覚ましとして使いたい

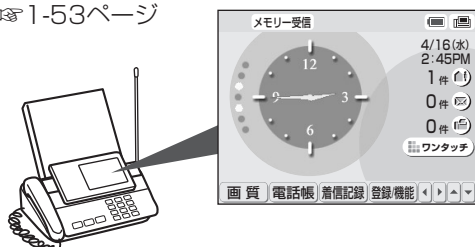
●アラームを利用する（子機）
☞5-7ページ

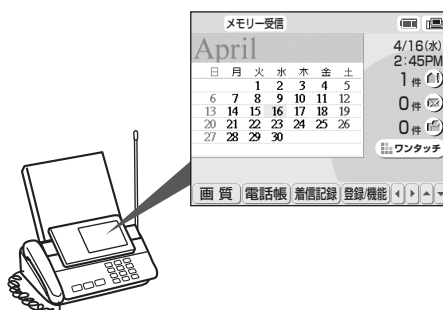
子機を増設したい

●子機を増設する（増設子機）
☞5-21ページ

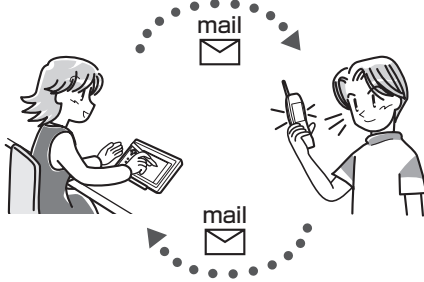
UX-WB10CL

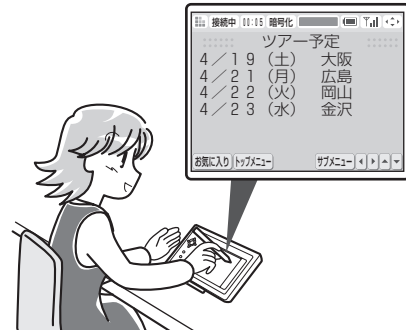
UX-WB10CW

時計機能を使いたい

●からくり時計を利用する（ワイヤレスカラー液晶）
☞5-26～5-27ページ
●ワイヤレスカラー液晶の日付と時刻を合わせる
☞1-52ページ
●子機の時刻を合わせる
☞1-53ページ

カレンダー機能を使いたい

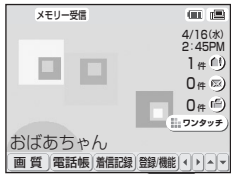
●カレンダー機能を利用する（ワイヤレスカラー液晶）
☞5-28～5-30ページ

Ｌモード

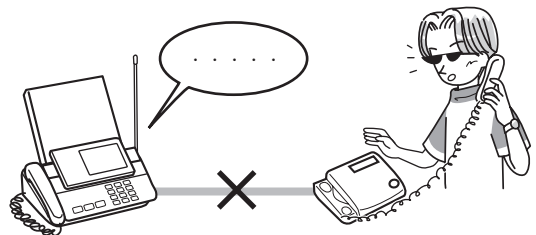
メールを使いたい

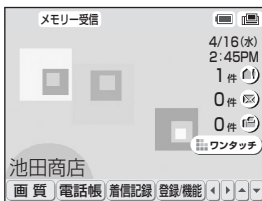
●メールを新しく作って送信する
☞6-24〜6-26ページ
●メールを受信する／表示する
☞6-27〜6-36ページ

Ｌモードのサイト（番組）を見たい

●サイト（番組）を表示する
☞6-52ページ

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを使いたい

●ナンバー・ディスプレイを利用する
☞7-2〜7-5ページ

いたずら電話などを受けないようにしたい

●非通知・公衆電話・表示圏外お断りを設定する
☞7-24ページ
●お断りしたい番号を登録する
☞7-25ページ

ネーム・ディスプレイを使いたい

●ネーム・ディスプレイを利用する
☞7-6〜7-7ページ

キャッチホン・ディスプレイを使いたい

●キャッチホン・ディスプレイを利用する
☞7-8〜7-11ページ

もくじ

第 1 章　ご使用の前に

第２章　電話

第３章　コピー／ファクス

1 ご使用の前に
2 電話
3 コピー／ファクス（コピー／ファクス）
4 留守番電話
5 便利な機能
6 Lモード（メール／ブラウザ）
7 ナンバー・ディスプレイ
8 こまったときは
9 ご参考に

第４章　留守番電話

第５章　便利な機能

第６章　Ｌモード

<メール>

<ブラウザ>

第７章　ナンバー・ディスプレイ

第８章　こまったときは

第９章　ご参考に

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

⚠危険 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

⚠警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

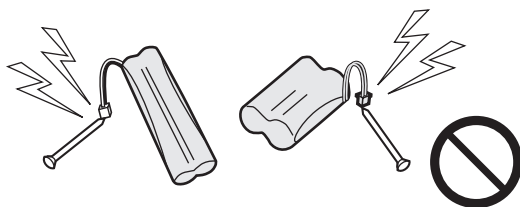
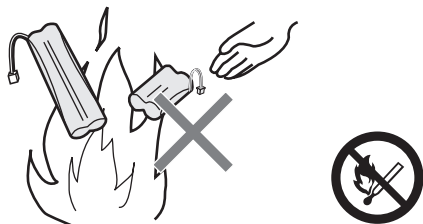
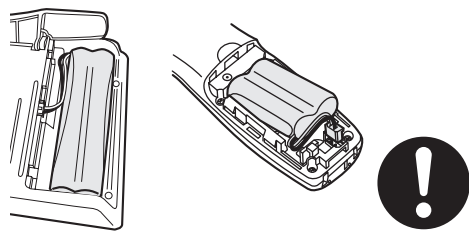
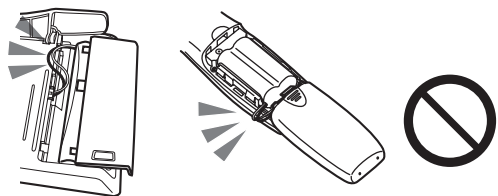
上の記号は、してはいけないことを表しています。

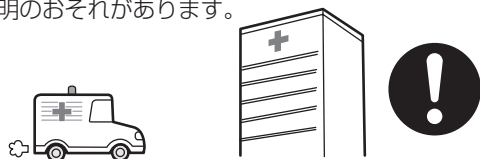
上の記号は、しなければならないことを表しています。

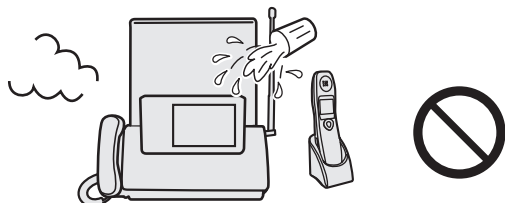
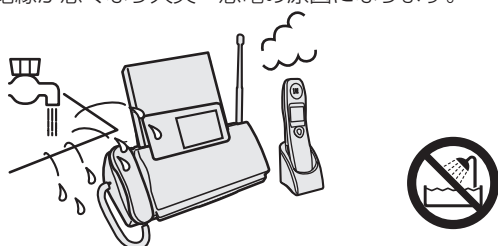
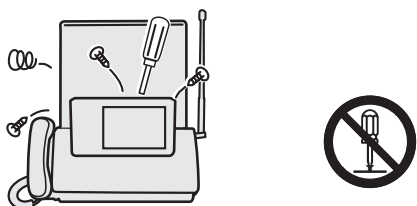
⚠危険

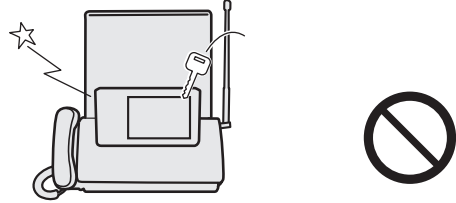
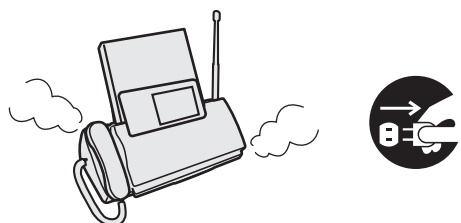
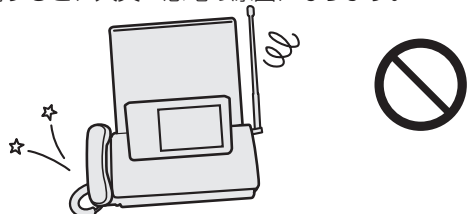
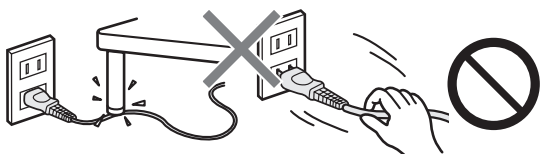
充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

■充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

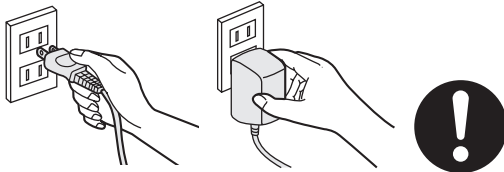
■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。

■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。

■充電池は、専用のものを使用してください。

■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。

■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

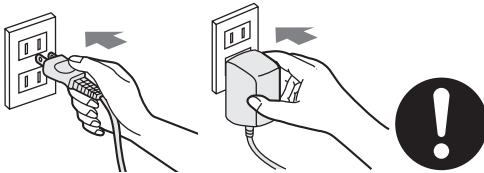
失明のおそれがあります。

⚠警告

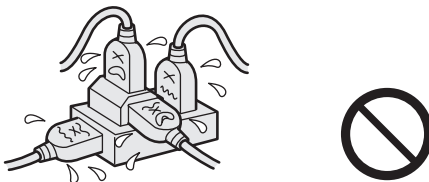
■水や薬品などの液体をこぼさないでください。
火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■浴そうなど、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。
絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。

■ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。

■充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

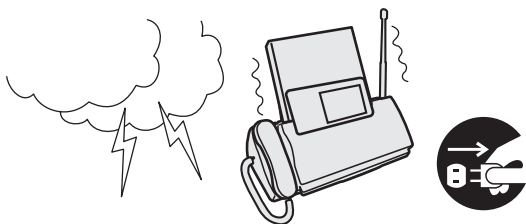
■内部に金属物を入れないでください。
火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。
火災・感電の原因になります。差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。
けがの原因になります。
万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

■電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。
次のようなことはしないでください。
・傷つける　　　　　　・無理に曲げる
・加工する　　　　　　・無理にねじる
・熱器具に近づける　　・重い物を載せる
・無理に引っ張る　　　・束ねる
傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。
コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。

⚠警告

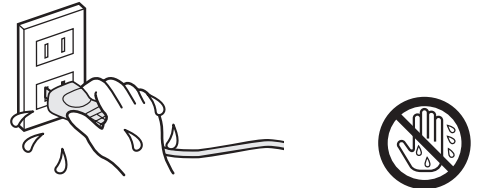
■**差し込みプラグやACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。**

感電の原因になります。

■**差し込みプラグやACアダプターは根元まで確実に差し込んでください。**

感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■**コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。**

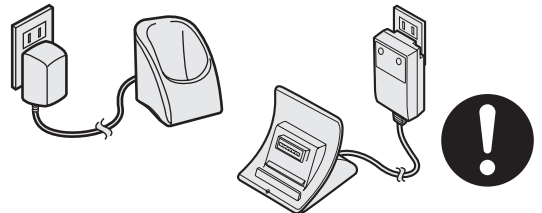
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■**雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いてください。**

火災・感電・故障の原因になります。

■**ぬれた手で差し込みプラグやACアダプターの抜き差しはしないでください。**

感電の原因になります。

■**この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流100V）に接続してください。**

海外や交流100V以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

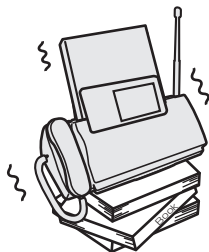
■**子機を充電するときは、専用の充電器、ACアダプターを使用してください。**

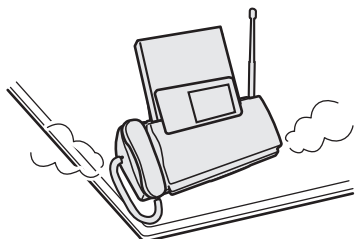
指定以外のものを使用すると、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因になります。

■**医療用電気機器の近くでは使用しないでください。**

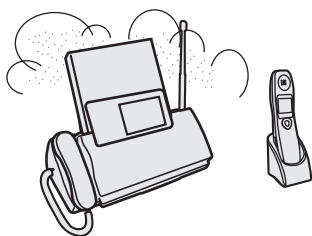
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

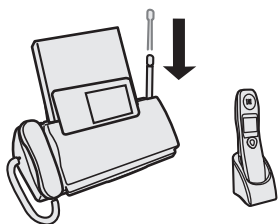
⚠注意

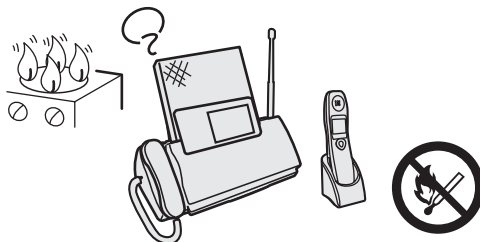
■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。

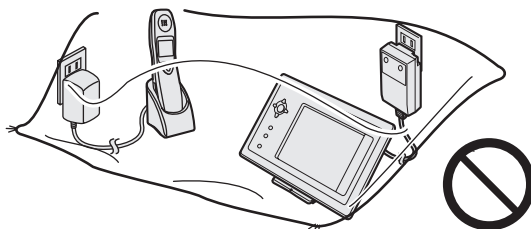
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。

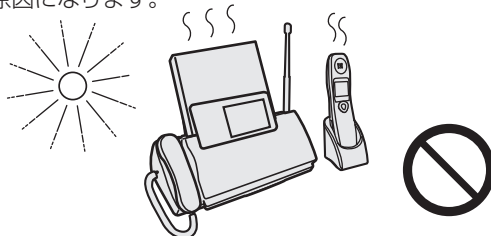
通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。

火災・感電・故障の原因になることがあります。

■この製品を移動するときは、アンテナをたたんで、差し込みプラグ・電話機コード・ACアダプターを抜いてください。

事故の原因になることがあります。

■火気や熱器具に近づけないでください。

変形や故障、火災の原因になることがあります。

■充電器やACアダプターを布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■暑い場所や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近くには置かないでください。

35℃以上、5℃以下では、誤動作・変形・故障の原因になります。

■万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。

○アース線を取り付けられるところ
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- 設置工事（D種）が行われている接地端子

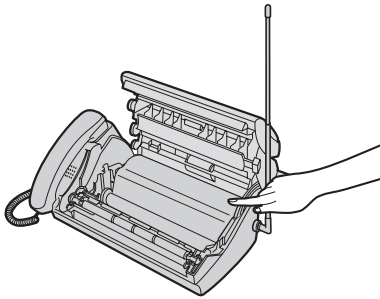
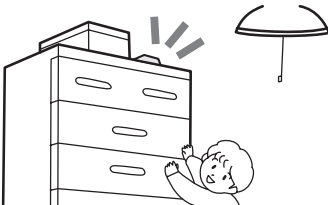
○アース線を取り付けてはいけないところ
- ガス管
- 電話専用アース
- 避雷針
- 水道管や蛇口

⚠注意

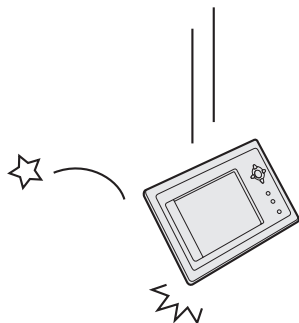
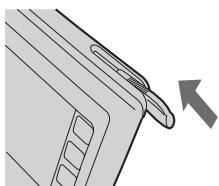
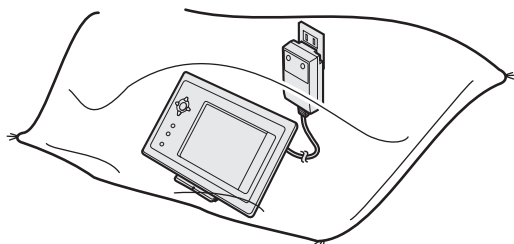
■子機を壁にかけて使用するときは、充電器を確実に取り付けてください。
落下により、けがの原因になることがあります。

■カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。
けがの原因になることがあります。

■充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。

■手で直接記録ヘッドに触れないでください。
発熱している場合があり、やけどやけがの原因になることがあります。

■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。
感電やけが（やけど）の原因になることがあります。

⚠注意

■ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けるときは、正しく取り付けてください。
振動などで落下して、けがや破損の原因となることがあります。

■ワイヤレスカラー液晶を落としたりなどして、強いショックを与えないでください。
けがや故障・破損の原因になることがあります。

■付属のタッチペンを使わないときは、ワイヤレスカラー液晶に戻しておいてください。
紛失したり、踏みつけなどによるけがの原因となることがあります。

■ワイヤレスカラー液晶を取り外してお使いのときは、上にものを乗せないでください。
誤って踏みつけたりして、けがや破損・液漏れなどの原因になることがあります。

■ワイヤレスカラー液晶の表示部（画面）操作は付属のタッチペンをお使いください。
爪や先のとがったもの（ボールペンなど）を使うと表示部（画面）を傷めることがあり、故障の原因になることがあります。

■小さなお子様のいるご家庭では、ワイヤレスカラー液晶の取り扱いに十分注意してください。
カラー液晶を落としたり、タッチペンを飲み込んだりして、けがの原因となることがあります。

第1章 ご使用の前に

特長

親機のおもな特長

親機から取り外して使える大きな5型、ワイヤレスカラー液晶

ワイヤレスカラー液晶は親機から取り外して使うことができます。
電話をかける／受けることや、「Lモード」を利用することなど、さまざまな機能をご利用いただけます。

見てからプリント機能（☞3-25〜3-29ページ）

メモリー受信したファクスの内容を画面に表示することができます。
※最初は「見てからプリント」ではなく、「メモリー受信」になっています。
「FAX受信方法を選ぶ」の設定で、「見てからプリント」に設定するとお使いになれます。（☞5-14ページ）

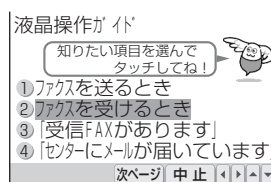
ファミリーカレンダー機能（☞5-28〜5-30ページ）

液晶ディスプレイにカレンダーを表示しておくことができます。
また、カレンダーに1日2件まで（最大100件）の予定を登録しておくことができます。登録した当日と、その前日には、液晶ディスプレイに予定を表示してお知らせします。

読上げボイスダイヤル機能（☞5-5〜5-6ページ）

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。番号を確認しながらダイヤルすることができ便利です。
（ワイヤレスカラー液晶や子機にはこの機能はありません。）

液晶操作ガイド（☞1-42〜1-43ページ）

ファクス送受信やLモード、エラーが起こったときの操作方法などを表示します。
液晶ディスプレイに表示されるガイドに従って、実際にファクスを送ることもできます。

見てからダイヤル機能（☞2-28〜2-30、3-15ページ）

よく利用する電話番号をディスプレイに表示し、その中から選んで電話をかけたりファクスを送ることができます。

からくり時計機能（☞5-26〜5-27ページ）

決まった時刻（毎時0分）になると、液晶ディスプレイが点灯し、アニメーションを表示したり、メロディーを流すことができます。
※工場出荷時は7時から21時まで、からくり時計機能が動作する設定になっています。（7時から21時の毎時0分に「華麗なる大円舞曲」のメロディーが流れ、アニメーションが表示されます。）動作させるかどうかの設定は1時間単位で変更できます。

子機のおもな特徴

液晶画面付コードレス子機

液晶画面に電話番号や名前（カナ）を表示。
子機の操作でファクスの送受信をすることもできます。

着信メロディー作曲機能 （☞5-8～5-13ページ）

子機の呼出音は、自分で作ることもできます。

子機スピーカーホン （☞2-8～2-9ページ）

子機を置いたままで、相手の方とお話しができます。

いろいろなサービスも利用できます

Lモード対応 （☞第6章　Lモード）

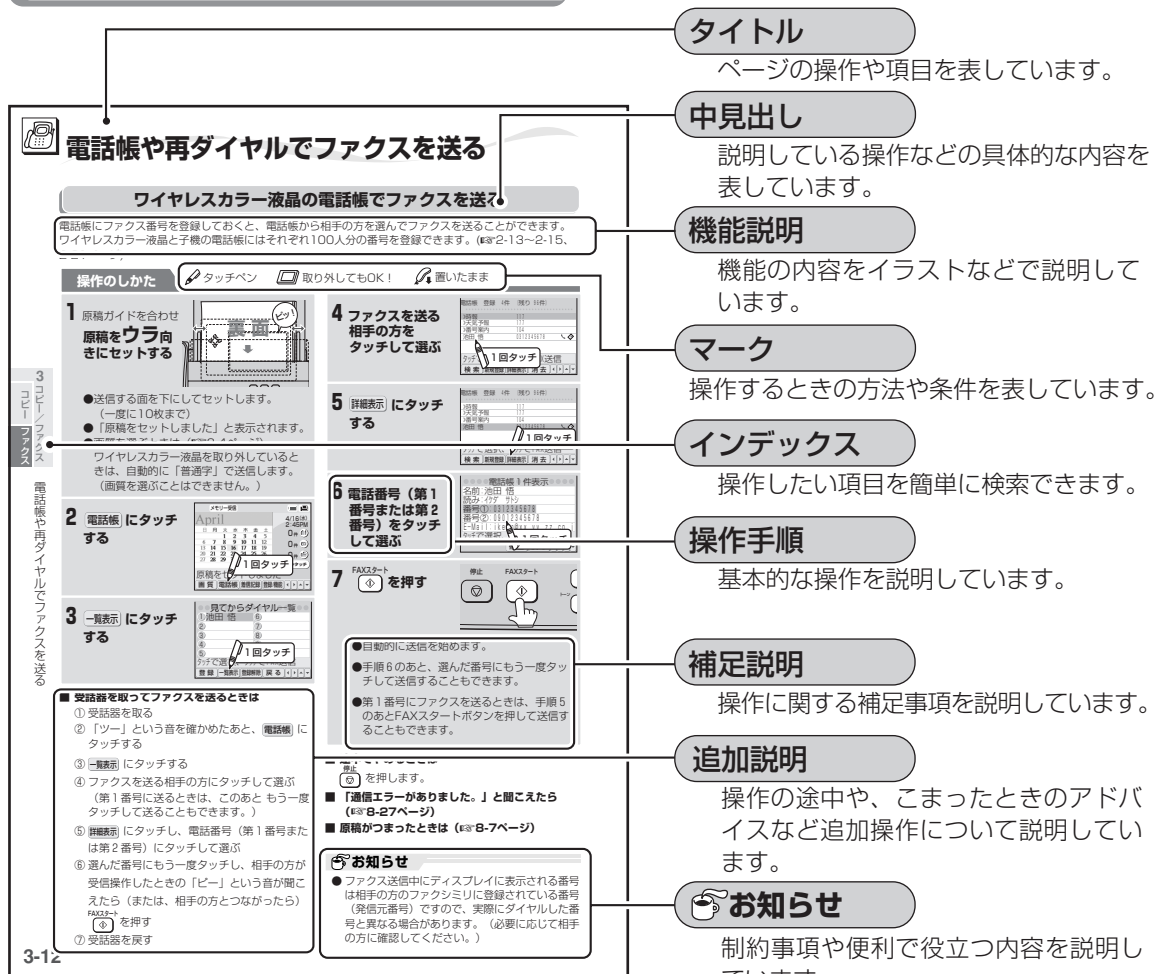
簡単な操作で、暮らしに役立つ情報を検索して見ることができます。
また、パソコンや携帯電話などとメールのやりとりもできます。
NTTとの加入契約と、月額基本料が必要です。（有料）

ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイ対応） （☞第7章　ナンバー・ディスプレイ）

電話に出る前やキャッチホンでかかってきた相手の方の番号を確認できます。また、親機はネーム・ディスプレイ対応ですので、番号と同時に相手の名前も確認できます。
NTTとの契約が必要です。（有料）

※ この製品には、当社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。
※ 本製品には、当社が独自に開発したアニメーション技術「E-アニメータ」を搭載しています。
本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

取扱説明書の見かた

本書の見かた

本書の表記

■ ボタンやキーの表記

画面上のボタンなど ········	ソフトボタンは 画 質 などと表記しています。 文字入力時に使用する入力ボードのキーは あ などと表記しています。
パネルのボタン ············	カラー液晶のボタンは おわる などと表記しています。 親機や子機のボタンは 1 などと表記しています。
スクロールキー／ マルチファンクションキー ··	カラー液晶のスクロールキーや子機のマルチファンクションキー（左・右・上・下）は ◀ ▶ ▲ ▼ と表記しています。

■ 操作の表記

カラー液晶を使用するには、次の 2 つの方法があります。

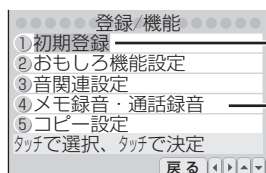
・ タッチペンで画面にタッチして操作する
・ キーを押して操作する

本書ではタッチペンを使った操作を中心に説明し、タッチペンを使えない操作ではキー操作で説明しています。また、タッチ操作を 1回タッチ マークなどで捕捉的に説明しています。

■ **タッチ操作の表記**

「タッチする」または「2回タッチする」は、画面上の項目などにタッチ（1回）するまたは2回タッチすることです。

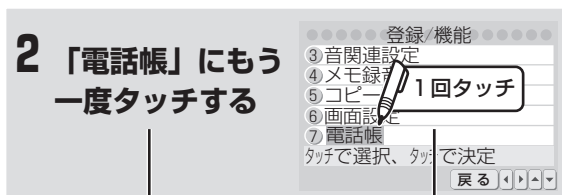
・ 選択して水色などに表示されている項目など ………… 1回タッチする
・ 選択していない項目など ………………………… 2回タッチする

<表記例>

■ **操作手順画面の表記**

操作手順の説明画面は次のように表記しています。

カラー液晶操作手順では…

タッチペンを使用した項目設定の操作手順では操作するときに表示されている画面を使用しています。

<タッチペンを使用した項目設定手順の例>

子機操作手順では…

子機の操作では、操作したあとの画面を使用しています。

<子機の操作手順の例>

■ **マークについて**

本書では、本商品を操作するときの方法や条件を、次のようなマークで表記しています。

タッチペン ……おもにタッチペンで操作します。

取り外してもOK！……ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しても操作することができます。

取り付けて操作 ……ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けて操作します。

子機で操作 ……子機で操作します。

置いたまま ……受話器を置いたまま操作します。

通話 消灯 ……子機の通話ボタンが消灯している状態で操作します。

<表記例>

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

付属品の確認

このたびは、「インターネット液晶ファクシミリ」をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。まず、次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

- お試し用のインクリボンがなくなったら、インクリボンのみを廃棄して別売のインクリボンに交換してください。ギヤ（緑色1個、白色1個）は廃棄しないでください。
- 充電器（子機用）の壁掛け用のネジは付属していません。壁に掛けてお使いのときは、市販のネジをお買い求めください。（☞1-33ページ）

取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・1冊	読み取り調整シート・・・・・・・・・・・・1枚
かんたん操作ガイド・・・・・・・・・・・・1部	通信テストシート・・・・・・・・・・・・・1枚
かんたん取り付けガイド・・・・・・・・・1部	保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
Lモードサービスのご案内・お申込ハガキ等・・1式	シャープスペースタウン for Lモードご案内・・1部

お知らせ

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞8-40～8-41ページ）
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

ご使用の前に知っていただきたいこと

ご使用にあたってのお願い

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。

This facsimile is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

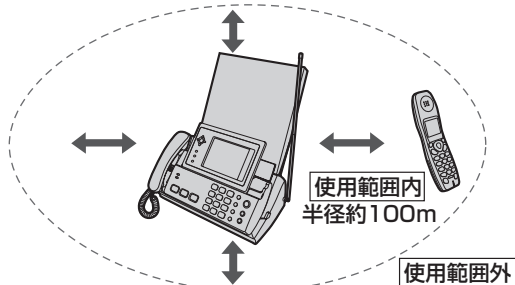
ワイヤレス機器の使用上のご注意

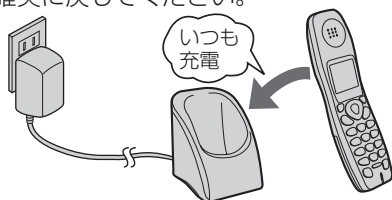
本商品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1．本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2．万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

子機について

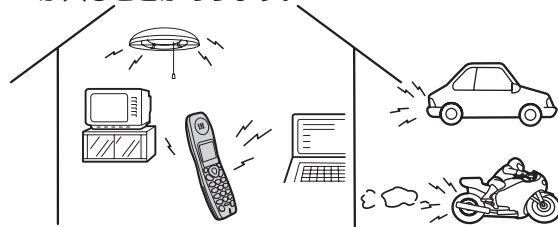
■ **使用範囲を確かめる**

子機と親機間の電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、半径約100mです。（直線見通し距離）
内線通話（☞2-34～2-35ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。

■ **子機はいつも充電器に戻しておく**

子機は使わないときも、充電器に戻しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

■ **親機と子機の間に障害物のある場所で使わない**

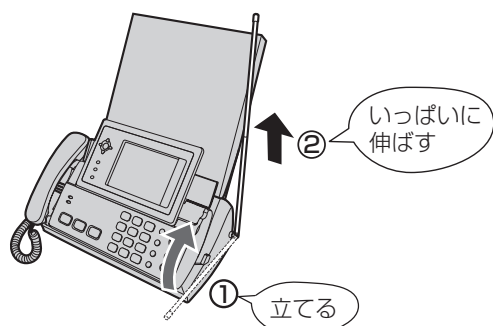
マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

■ **雑音が入ることがあります**

自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを「入」「切」したときなど、雑音が入ることがあります。

■ **“傍受”にご注意ください**

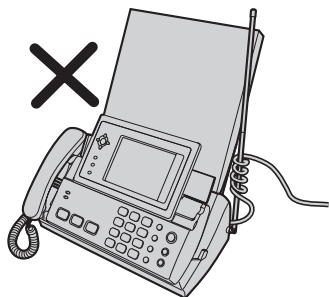
この商品は盗聴防止スクランブル機能を搭載していません。
コードレス子機を使っての通話は、電波を利用していますので第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。
傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

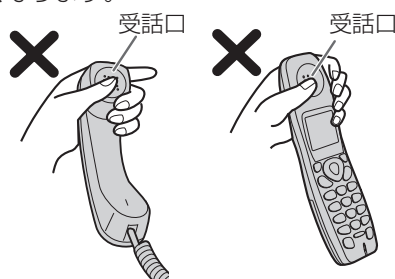
■ **親機のアンテナは立てて伸ばす**

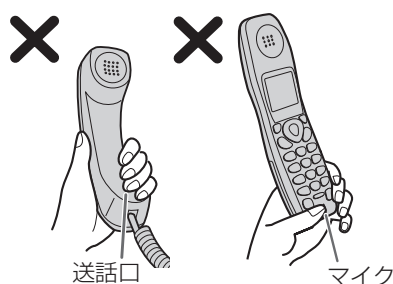
電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは必ず立てて伸ばしてください。

■ **子機の呼出音は、遅れて鳴ります**

電話がかかってくると、はじめに親機の呼出音が鳴って、そのあと、少し遅れて子機の呼出音も鳴ります。

■ **アンテナにコードを巻き付けない**

親機の電源コードや電話機コード、充電器のACアダプターケーブルをアンテナに巻き付けないでください。着信時に子機の呼出音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。また、アンテナが破損する原因となります。

■ **受話口やスピーカーの穴をふさがない**

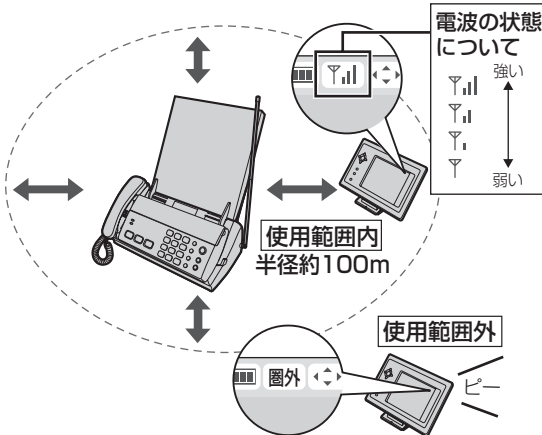
受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ **送話口（マイク）をふさがない**

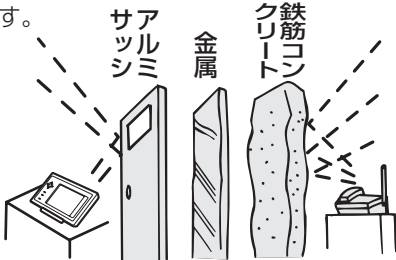
こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

内蔵のリチウム電池について

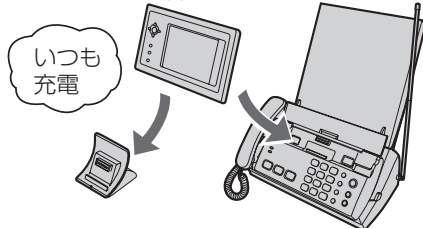
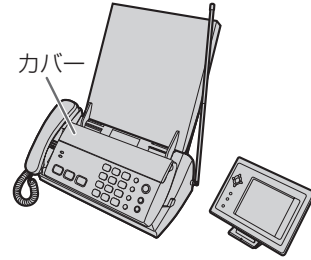
- 本体の時計はリチウム電池で動いています。
- リチウム電池の寿命は、連続的に電源コードを抜いた状態で、約 5 年間です。
- リチウム電池の交換は、お買いあげの販売店やシャープサービス窓口へご依頼ください。（有料）

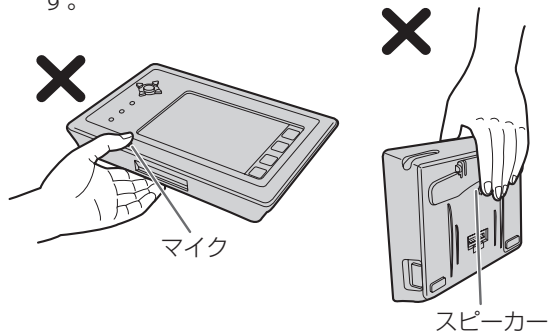
ワイヤレスカラー液晶について

■ 使用範囲を確かめる

ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外してお使いいただくときは、**ディスプレイに 📶 が表示される範囲でお使いください。**親機から半径見通し約100m以内です。（周囲の環境や設置状態によって短くなる場合があります。）
ワイヤレスカラー液晶が使用できる範囲から外れると、ディスプレイに 圏外 が表示されます。

■ 親機とワイヤレスカラー液晶の間に障害物のある場所で使わない

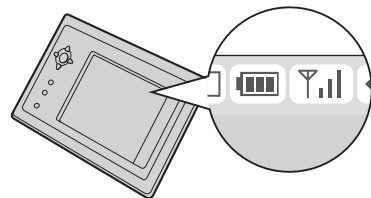
マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

■ ワイヤレスカラー液晶は、いつも親機や充電器に戻しておく

ワイヤレスカラー液晶を取り外して使わないときは、いつも親機またはワイヤレスカラー液晶用充電器に戻して、充電しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。

■ ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しているときは、親機のカバーを閉じておく

■ マイクの穴をふさがない／スピーカーの穴をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。また、音や相手の方の声が聞こえにくくなります。

■ 付属のタッチペンをお使いください

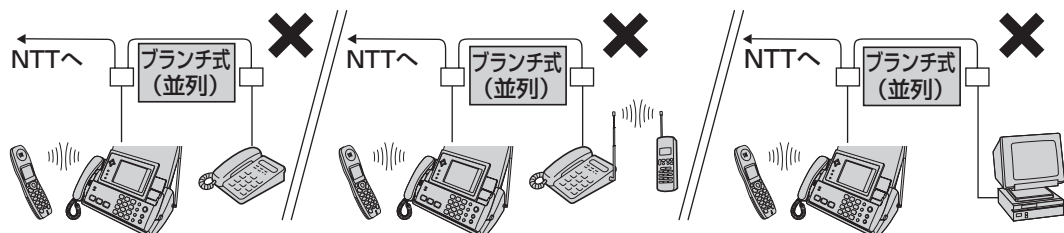
画面タッチの操作は、付属のタッチペンを使ってください。鉛筆やシャープペンシルなどの先のとがったものは、使わないでください。表示部を傷めることがあります。

■ 電池の残量を確かめる

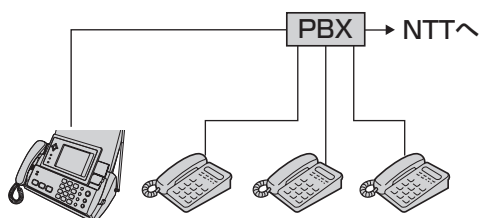
電池の残量はディスプレイに ▮▮▮ で表示されています。▮ の部分が残量です。このマークが少なくなると電池が消耗していますのでワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けて充電してください。
（☞1-22ページ）

● Bluetooth™は、その商標権者が所有している登録商標であり、当社はライセンスに基づき使用しています。
● 親機と接続可能な対応機器はワイヤレスカラー液晶のみであり、同一バージョンのBluetooth™機能を搭載している端末であっても接続できません。

接続について

■ **ブランチ式（並列）に接続しない**

● 下図のように、一つの電話回線を２つ以上に分けて並列に接続しないでください。共鳴したり、正常に機能が動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、電波が干渉し合って子機の呼出音が鳴らないことがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき伝送速度が遅くなることがあります。

■ **構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへの接続について**

● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は工事が必要です。
● お使いになるホームテレホンや交換機などの機種によって接続方法が異なります。
● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、機種によってはLモード、ナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を「使用しない」にしてお使いください。（☞7-3ページ）
● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えることができないことがあります。

構内交換機(PBX)の場合

● **ホームテレホンとは**

電話回線１本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

● **ビジネスホンとは**

電話回線を２本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

各部の名前とはたらき（親機）

各部の名前

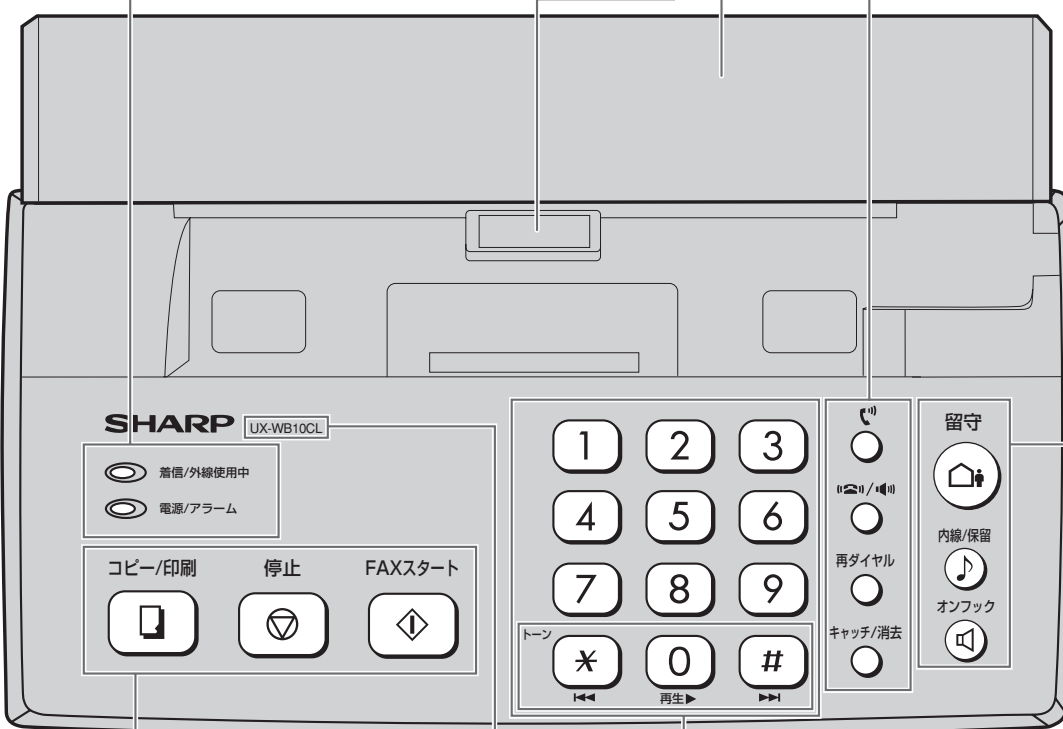
操作パネル

（図はワイヤレスカラー液晶を取りはずした状態で説明しています。）

着信/外線使用中
着信があったとき、緑色に点滅します。
電話やファクスなどで回線を使っているとき、緑色に点灯しています。

電源/アラーム
電源が入っているとき、緑色に点灯しています。
通信エラーがあったときや、操作パネルを開けたとき、インクリボンがなくなったときなど、赤色に点滅します。

ワイヤレスカラー液晶充電端子

カバー
ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときは、必ずこのカバーを閉じてください。

コピー／印刷ボタン（☞3-6、3-7ページ）
原稿をコピーするときに使います。
また、見てからプリント機能で表示させた画面をプリントするときにも使います。

停止ボタン
操作や送信を途中で止めるときに使います。

FAXスタートボタン（☞3-8～3-11、3-20ページ）
ファクスを送るときや受けるときに使います。

本商品の形名です（UX-WB10CLまたはUX-WB10CW）

（音量）ボタン
（☞1-49ページ）

受話音量を変えるときに使います。

/（音量）ボタン
（☞1-44ページ）

呼出音量、スピーカー音量を変えるときに使います。

再ダイヤルボタン／（ポーズボタン）
（☞2-15、2-32ページ）

同じ相手にもう一度ダイヤルするときに使います。

また、電話番号の登録などで待ち時間を入れるときに使います。

キャッチ／消去ボタン
（☞5-23ページ）

キャッチホンを利用するときに使います。
また、各種消去メニューで各項目の内容を消去したりするときに使います。（ワイヤレスカラー液晶を取り付けているときのみ）

留守ボタン（表示ランプ兼用）
（☞4-2、4-5ページ）

外出時、留守番電話にするときに使います。

内線／保留ボタン（表示ランプ兼用）
（☞2-11、2-34、2-36、2-38ページ）

子機と内線でお話しするときや、相手の方を保留メロディーでお待たせするときに使います。

オンフックボタン（表示ランプ兼用）
（☞2-2、3-10ページ）

受話器を置いたままダイヤルするときに使います。

ダイヤルボタン

電話をかけるときや、登録操作を行うときに使います。

⏮（戻し）／トーン（スター）ボタン
（☞4-7、5-22ページ）

再生中に録音内容を聞き直したり、１つ前の録音内容を聞いたりするときに使います。
また、ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するときに使います。

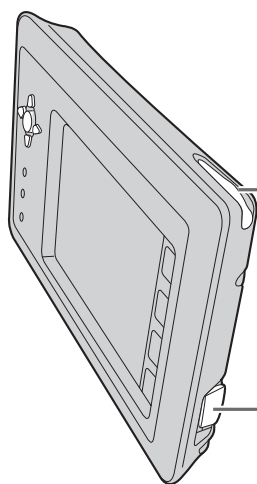
再生ボタン（☞4-7ページ）

録音内容を再生するときに使います。

⏭ 送りボタン（☞4-7ページ）

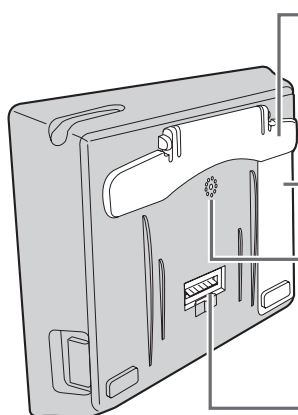
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

各部の名前とはたらき（ワイヤレスカラー液晶）

各部の名前

タッチペン

画面にタッチしたり、文字を入力するときなどに使います。

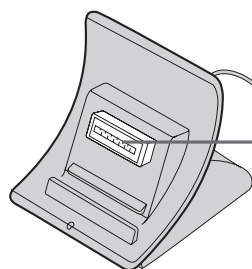
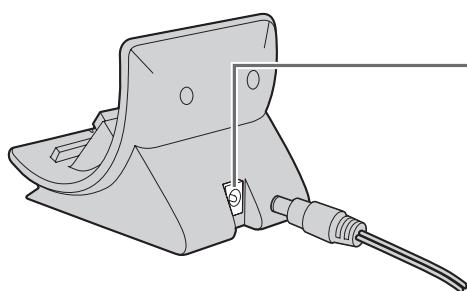
バーコードリーダー端子

別売品のバーコードリーダーを接続することができます。（☞6-77ページ）

スタンド

ワイヤレスカラー液晶を取り外して使うときに使います。（☞1-36ページ）

充電池ふた

スピーカー

充電端子

充電端子

ACアダプターコード差込口

ACアダプターのコードを差し込みます。（☞1-31ページ）

操作パネル

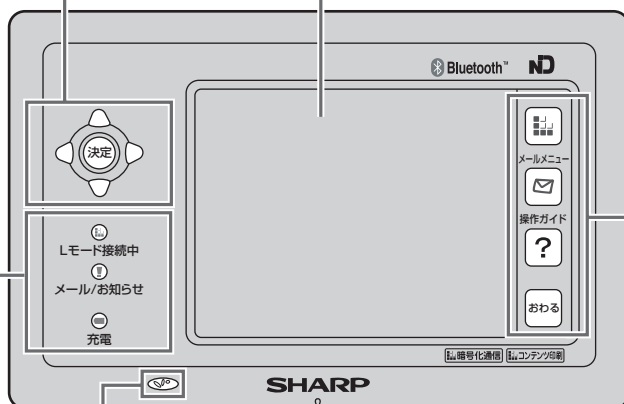
次のキーやボタンは、指で押してください。（タッチペンで押さないでください。）

スクロールキー

ディスプレイに表示された画像をスクロールさせるときに使います。
また、登録や設定項目を選ぶときなどに使うこともできます。

決定ボタン

選択や入力した内容を決定するときに使います。

液晶ディスプレイ（☞1-15ページ）

マイク（☞2-6〜2-7ページ）

スピーカーホンで相手の方とお話しするときに使います。

Lモード接続中	「Ｌモード」に接続している間、赤色のランプが点灯しています。
メール/お知らせ	新着メールが届いたときや、「受信ファクスがあります。…」などのメッセージやエラーメッセージが画面に表示されると、赤色のランプが点滅してお知らせします。
充電	ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けているとき（充電中のとき）に緑色に点灯しています。 ワイヤレスカラー液晶用充電器にワイヤレスカラー液晶がセットされているとき（充電中のとき）にも緑色に点灯しています。 親機や充電器から取り外しているときで、バックライトが消灯すると点滅します。

次のボタンはタッチペンでタッチしてください。

Ｌボタン（☞第６章　Ｌモード）

「Ｌモード」へ接続するときに使います。

メールメニューボタン（☞第６章　Ｌモード<メール>編）

「Ｌモード」利用時にメールを受信するときなど、メールの操作時に使います。

操作ガイドボタン（☞1-42〜1-43ページ）

ファクスの送受信などの基本的な操作方法や、エラー解除方法などを見るときに使います。

おわるボタン

操作や送信を途中で止める時に使います。
「Ｌモード」利用時は、「Ｌモード」を終了して回線を切断するときに使います。

ディスプレイ表示

待機画面（通話や操作などをしていないとき）では下記のように表示します。
登録や設定などの操作を行うときは、ディスプレイに表示されるボタンや項目をタッチペンでタッチします。
ディスプレイは、待機画面になってから約10分間、点灯していますが、その後消灯します。親機や充電器に取り付けていないときは約４～５分（省エネモード）で消灯します。
節電のため、ディスプレイが消灯するまでの時間を短くすることができます。（☞1-40ページ）

設定状態表示エリア

設定やワイヤレスカラー液晶の状態をマークで表示します。

メモリー受信
ファクスをいったんメモリーで受け、受信が終了してからプリントする設定のときに表示します。
また、すぐに記録紙にプリントするように設定すると、「記録紙受信」と表示します。メモリーで受け、画面で見てからプリントする設定のときは、「見てからプリント」と表示します。

普通字 **濃く**
設定している画質を表示します。

FAX優先
FAX優先に設定されているときに表示します。（☞9-9ページ）

FAX専用
FAX専用に設定されているときに表示します。（☞9-9ページ）

（呼出音オフマーク）
呼出音を鳴らさない設定にしているときに表示します。

（電池マーク）
ワイヤレスカラー液晶の充電池残量を表示します。（☞1-9ページ）

（親機マーク）
ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けているときに表示します。
ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しているときは、電波の強さを（アンテナマーク）で表示します。また、ワイヤレスカラー液晶が使用範囲の外にあるときは 圏外 と表示します。（☞1-9ページ）

キャラクター表示エリア

お買いあげ時は「カレンダー」を表示しています。「からくり時計」に変更することができます。
「Ｌモード」を利用してダウンロードしたデータを画面メモに保存して表示することもできます。
（☞5-2、6-68～6-69ページ）
ワンタッチ 部分にタッチすると、あらかじめ登録しておいた「Ｌモード」内のページをかんたんに表示できます。
（☞6-58ページ）

エラー／メッセージ表示エリア

「通信エラー」「原稿がつまっています」などのエラー表示や「受信FAXがあります。…」などのメッセージを表示します。

日付・時間表示エリア

日付・時刻を表示します。

ソフトボタン表示エリア

操作に必要なボタンの名称がディスプレイに表示されますので、表示部分をタッチペンでタッチしてください。
ディスプレイが消灯しているときは、ディスプレイの部分にタッチするとディスプレイが点灯し、待機画面になります。
ディスプレイが消灯して、メール/お知らせが点灯しているときはディスプレイの部分にタッチしてエラー／メッセージを確認してください。

メモリー表示エリア

（留守録音件数表示）
留守録やメモ録音している件数を表示します。
（留守マーク）部分にタッチして、留守に設定または解除することができます。

（受信メール件数表示）
「Ｌモード」のサービス利用時に保存されている受信メールの件数を表示します。
（メールマーク）部分にタッチして、受信メール一覧画面を表示することができます。

（メモリー受信件数表示）
ファクスをメモリー受信している件数を表示します。
（ファクスマーク）部分にタッチして、受信ファクス一覧画面を表示することができます。

お知らせ

● エラー／メッセージ表示エリアに表示されるメッセージが長いときは、文字が自動的に流れて全文表示されます。そのとき、文字がにじんで見えることがありますが、故障ではありません。

各部の名前とはたらき（子機）

各部の名前

マルチファンクションキー

電話帳で相手の方を選ぶときや、登録操作をするときに使います。
また、押す方向によって、次の機能を兼用しています。

● ▲ ▼ は、（音量）（☞1-51ページ）
お話し中に、受話音量を変えるときに使います。

● ◀ は、（再ダイヤル）（着信記録）（ポーズ）（☞2-21、2-33、5-4、7-13、7-15、7-17、7-19ページ）
同じ相手の方にもう一度、電話をかけ直すときに使います。（再ダイヤル）
ナンバー・ディスプレイをご利用時は、着信した相手の方の番号や名前を表示できます。（着信記録）
また、電話番号の登録や発信の途中で、待ち時間を入れるときに使います。（ポーズ）

● ▶ は、（電話帳）（☞2-21ページ）
電話帳に登録するときなどに使います。

ホットラインダイヤルボタン（☞2-31ページ）

ホットラインダイヤルを使って電話をかけるときに使います。

通話ボタン（表示ランプ兼用）（☞2-3、2-5ページ）

外へ電話をかけるときや受けるときに使います。電話がかかってきたときにランプが点滅します。

スピーカーホンボタン（☞2-8〜2-9ページ）

子機を置いたまま、相手の方とお話しするときに使います。
（スピーカーホン通話）

機能（ファクス）ボタン（☞3-16〜3-17、5-16ページ）

登録操作や、ファクスを送受信するときに使います。

（音量）ボタン（☞1-47ページ）

呼出音量やスピーカー音量を変えるときに使います。

カナ／キャッチボタン（☞1-71〜1-74、5-24ページ）

文字を入力するとき、カナ入力モードや英字入力モードに切り替えるときに使います。
また、キャッチホンを利用するときに使います。

切ボタン（表示ランプ兼用）

通話をやめるとき、また、登録操作を途中でまちがえたときや、やめるときに使います。充電中にランプが点灯します。

ダイヤルボタン

電話をかけるときや、文字を入力するときに使います。
また、次の機能を兼用しています。

5（戻し）ボタン（☞4-8ページ）
再生中に録音内容を聞き直したり、1つ前の録音を聞いたりするときに使います。

6（送り）ボタン（☞4-8ページ）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

9（早聞き）ボタン（☞4-8ページ）
録音内容を早く聞くときに使います。（約1.5倍速）

＊（トーン）ボタン（☞5-22ページ）
ダイヤル回線で、プッシュホンサービスを利用するときに使います。

保留／内線/クリアボタン（☞1-74、2-12、2-35ページ）

通話中に、相手の方をお待たせするときや、親機と内線通話をするときに使います。
また、入力した文字を消すときにも使います。

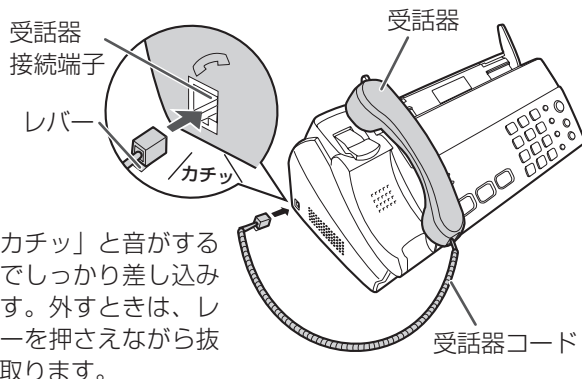
ディスプレイ表示

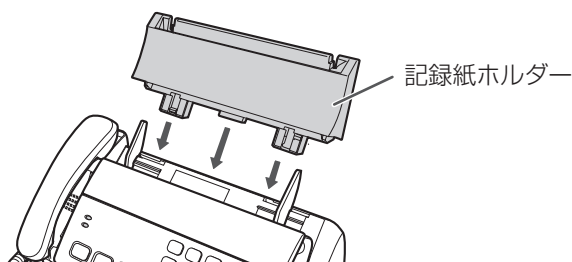
※上の図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

親機を接続する

受話器、記録紙ホルダー、記録紙ホッパーを取り付ける

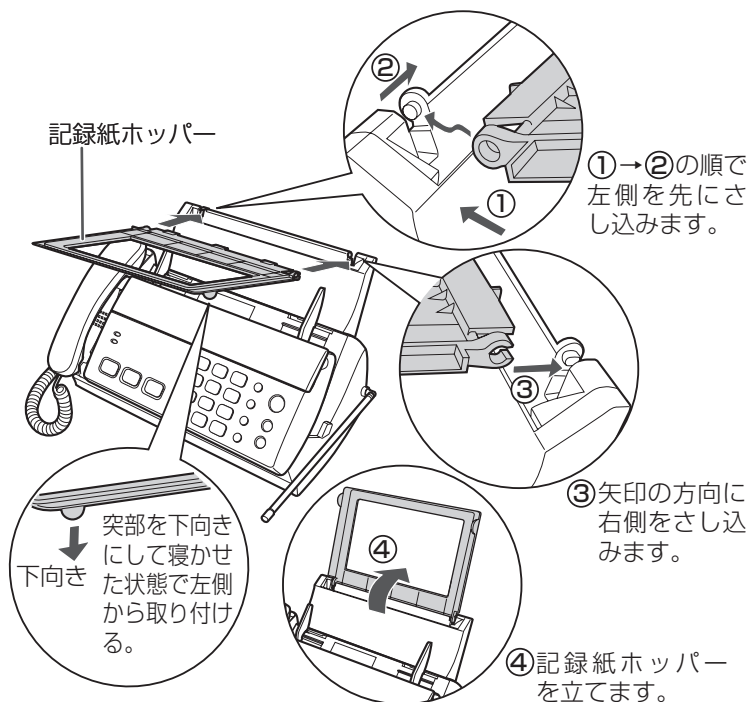
操作のしかた 必ず手順の番号順に接続してください。

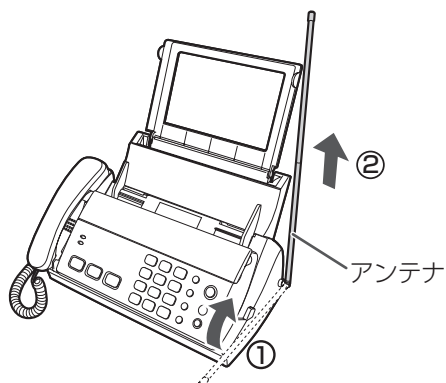
1 受話器コードを、受話器接続端子に差し込む

2 記録紙ホルダーを取り付ける

向きに注意して、図のように取り付けてください。

3 記録紙ホッパーを取り付ける

向きに注意して、**手前に倒した状態で**図のように取り付けてください。

次ページへ→

→つづき

4 アンテナを立てて伸ばす

アンテナを立てて伸ばさないと、電波の届く距離が短くなります。

お知らせ

● この商品のプラスチック部分には、光の具合によってキズのように見える箇所があります。これはプラスチックの製作過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。

ワイヤレスカラー液晶に充電池をセットする

お買いあげ時は充電池は充電されていません。
はじめてお使いになるときは、
必ず 8 時間以上充電してください。

充電池の寿命

- 充電池にも寿命があります。古くなると充電しても使えなくなります。
- 使用頻度にもよりますが、約 1 年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときは新しい別売の充電池に交換してください。
- 当社専用の充電池をご使用ください。（☞9-2ページ）

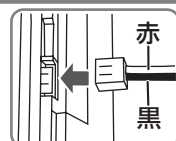
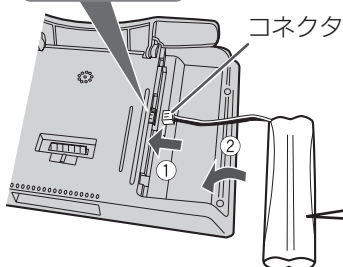
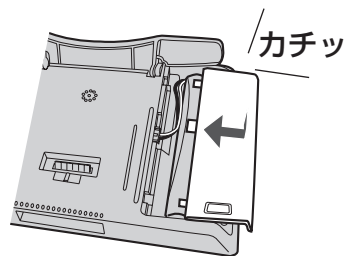
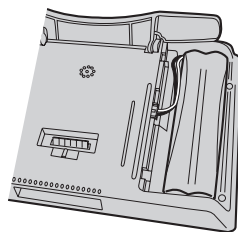
通話時間について

いっぱいに充電した状態（ 8 時間以上）で通話できる時間は

- 通話状態で**約 1 時間**です。※
- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約 1 分後に通話が切れます。このときは、いったん電話を切って充電するか、親機や子機にひとり転送してお話しください。
- ワイヤレスカラー液晶で電話をかける／受ける（☞2-6～2-7ページ）でお話しすると通話できる時間は短くなります。

※ 動作環境によって短くなることがあります。

操作のしかた

1 充電池のコネクタを接続して充電池を入れる

2 充電池ふたを取り付ける

充電池のコードをはさまないように充電池ふたを取り付ける

お知らせ

- 旅行や長期不在によりワイヤレスカラー液晶を使用されないときは、充電池のコネクタを外しておくことをおすすめします。（データが消えますので、詳細は8-36ページを参照ください。）
- ワイヤレスカラー液晶を充電すると、充電端子のまわりがあたたかくなりますが、異常ではありません。

ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付ける／取り外す

ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けると自動的に充電がはじまります。

操作のしかた

1 親機のカバーを開ける

2 ワイヤレスカラー液晶をやや斜めにしてまっすぐ下げる

●ワイヤレスカラー液晶を取り扱うときは、故障やけがの原因となりますので、落下などに十分ご注意ください。

マーク

突起部ライン

●ワイヤレスカラー液晶の下のマークと親機の突起部ラインをあわせてください。

3 ワイヤレスカラー液晶を親機側に軽く倒す

●親機または子機が動作中（通話中やコピー中等）に、ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けると、「しばらくお待ちください」と表示されます。親機の動作が終了すると待機状態に戻ります。

カチッ

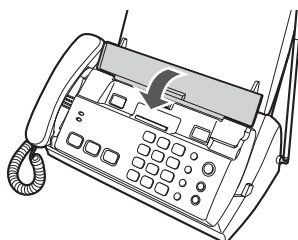
●ワイヤレスカラー液晶背面の充電端子が接続されて「カチッ」という音が鳴ります。また、ディスプレイの右上に マークが表示されます。マークが表示されなかったときは、もう一度取り付け直してください。

●ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けると、「ピッ」という音が鳴ります。そのあと、バックライトが消えると、自動的に充電が開始されます。

取り外すときは

1 ワイヤレスカラー液晶を手前側に少し起こす

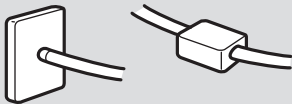
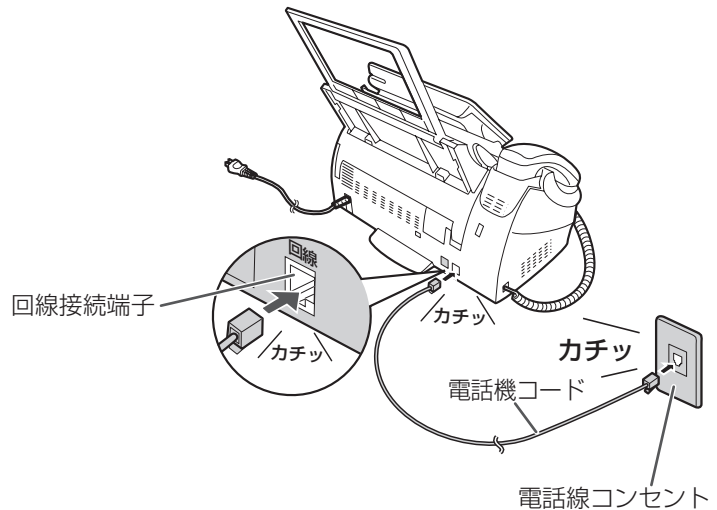
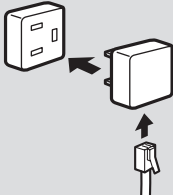
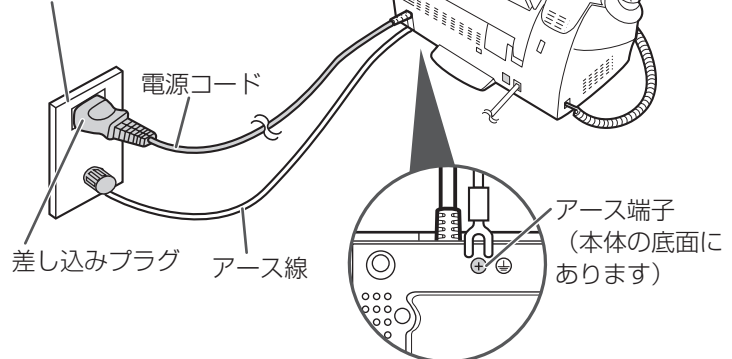
2 ワイヤレスカラー液晶をまっすぐ持ち上げる

3 親機のカバーを閉じる

電話回線に接続する

操作のしかた 必ず手順の番号順に接続してください。

1 電話機コードを、回線接続端子とご家庭の電話線コンセントに差し込む

●コンセントのタイプについて

直接配線（ローゼット／プレート）の場合、最寄りのNTT支店・営業所へご相談ください。

3ピンプラグ式コンセントの場合、市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。

2 差し込みプラグを電源コンセントに差し込む

万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線を底面のアース端子へネジ止めします。
アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。

次ページへ→

→つづき

3 電話回線が自動的に設定される

●10PPSの回線を使われているときは、手動で設定してください。
（☞1-27ページ）

●「回線種別選択」と表示されたときは
回線種別自動設定ができませんでした。回線の状態によって自動的に設定できないことがあります。
回線種別が合っていないと電話をかけられなかったり、ちがう相手にかかったりすることがあります。
こんなときはタッチペンで回線種別（利用している回線の種類）を２回タッチしてください。

〈回線種別〉
「20PPS」
「トーン」（プッシュホン）
「10PPS」

●回線の種類がわからないときは（☞1-27ページ）

●回線種別とは…
電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。
回線の種類が正しく合っていないと電話をかけることができません。（利用している回線の種類は、NTTとの契約によります。）

■ ファクシミリを設置したときは
通信状態を確認することができます。付属の「シャープファクス無料通信テストのご案内」に必要事項をご記入のうえ、シャープファクシミリ通信テストセンターまでファクスでお送りください。受信状態を診断して通信結果をお送り致します。（ファクス送信していただく時間帯によっては、返信に数日かかる場合もあります。）

シャープファクシミリ通信テストセンター
※番号のおかけ間違いのないようご注意ください
0120－364889

お知らせ

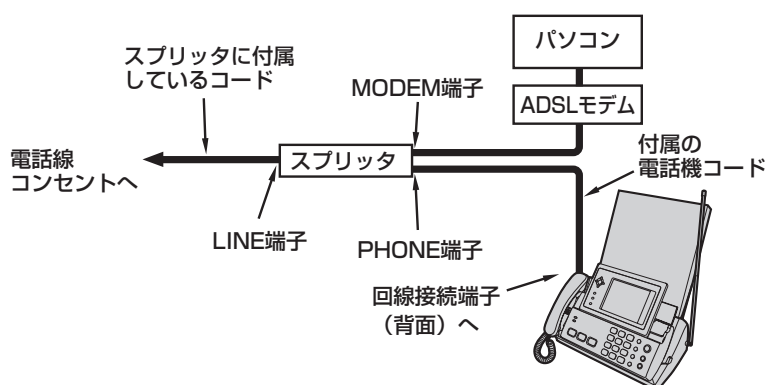
● 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続されている場合は、回線種別が正しく合わないことがあります。
● IP電話（インターネットを使った電話）サービスをご利用のときは、回線種別が正しく合わないことがあります。
NTTと契約されている回線種別をご確認の上、手動で回線種別を設定してください（☞1-27ページ）。
● 電源を入れると、親機の底面等が部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。
● 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。

ADSL回線をご利用のときは

インターネットやパソコン通信にADSLを利用する場合は、スプリッタを用いて本商品とパソコンの両方を接続することができます。ADSLを利用するには、ADSL各サービス会社への申し込みが必要です。

●ADSLには加入電話と共有するタイプ（タイプ１）と共有しないタイプ（タイプ２）があります。
　タイプ２のときは本商品をお使いになることができません。
　タイプ１のときは、下図のようにスプリッタの「PHONE端子」（ADSL各サービス会社によって名称の異なることがあります）に親機を接続します。

●本商品の回線種別はご契約の回線種別に設定してください。（お使いのADSLモデムによっては回線種別が合っていなくても電話がお使いになれますが、0120（フリーダイヤル）などがご利用になれない場合があります。）

●電話回線をADSLに変更する場合は、「ISDNからADSLに変更したときは」（☞8-42〜8-43ページ）「一般回線からADSLに変更したときは」（☞8-44ページ）をご覧ください。

お知らせ

● 一般回線やISDNからADSLに変更した場合、サービス会社や接続条件によっては、次のようになります。
　・ファクスが送受信できなくなったり、電話にノイズが入ったりすること等があります。その場合は、各ADSLサービス会社にご相談ください。
　・電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話、PHSに発信した場合は、非通知になります。
　・発信時、局番の頭に 0000、0120、0570、0990等をつけた場合、また 110、119、177、117、186、184、122等の番号にかけたとき、かからない（つながらない）などといった現象が発生することがあります。このときは、NTTと契約されている回線種別と機器の回線設定が合っているかどうかを確認いただき、合っていない場合は手動で設定しなおしてください。（☞1-27ページ）

ISDN回線をご利用のときは

インターネットやパソコン通信にNTTのISDN回線（INSネット64）を利用する場合は、ISDNターミナルアダプター（TA）を用いて本商品とパソコンの両方を接続することができます。ISDN回線を利用するには、NTTへの申し込みが必要です。

●ISDNターミナルアダプター（TA）の「アナログポート」（TAメーカーにより名称の異なることがあります）に親機を接続します。

●ターミナルアダプターとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。あらかじめご用意ください。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。

●回線種別はプッシュ回線（PB）に設定してください。

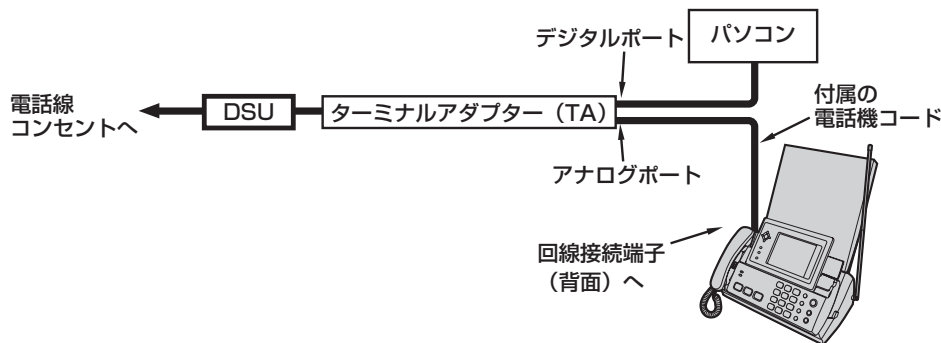
●ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。対応状況は、お使いのTAメーカーにお問い合わせください。

●ナンバー・ディスプレイに対応していないターミナルアダプターをお使いのときは、ナンバー・ディスプレイの利用設定を「使用しない」に設定してください。（☞7-3ページ）

●ネーム・ディスプレイを利用するときは、ネーム・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。対応状況は、お使いのTAメーカーにお問い合わせください。

●「Ｌモード」をご利用になるときは、「Ｌモード」に対応したターミナルアダプター（TA）をご利用ください。

●ISDNをご利用のときは、ターミナルアダプターによって電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「TA対応」の設定を変更してください。（☞9-9ページ）

●電話回線をISDNに変更する場合は、「一般回線からISDNに変更したときは」（☞8-45ページ）をご覧ください。

お知らせ

● 一般回線やISDNからADSLに変更した場合、サービス会社や接続条件によっては、次のようになります。

・ファクスが送受信できなくなったり、電話にノイズが入ったりすること等があります。その場合は、各ADSLサービス会社にご相談ください。

・電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話、PHSに発信した場合は、非通知になります。

・発信時、局番の頭に 0000、0120、0570、0990等をつけた場合、また 110、119、177、117、186、184、122等の番号にかけたとき、かからない（つながらない）などといった現象が発生することがあります。このときは、NTTと契約されている回線種別と機器の回線設定が合っているかどうかを確認いただき、合っていない場合は手動で設定しなおしてください。（☞1-27ページ）

回線種別を合わせる（変える）ときは

回線種別を親機が自動的に設定できなかったときや、電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。もう一度、回線種別を設定し直してください。
また、10PPS回線をご利用の方も、この設定で10PPSに設定を変えてからお使いください。

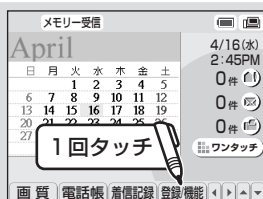
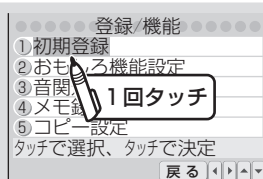
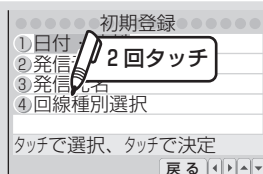
操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 登録/機能 **にタッチする**

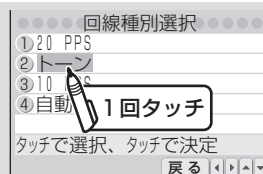
メモリー受信　April　4/16(水) 2:45PM　1回タッチ　画質　電話帳　着信記録　登録/機能

2 「初期登録」にタッチする

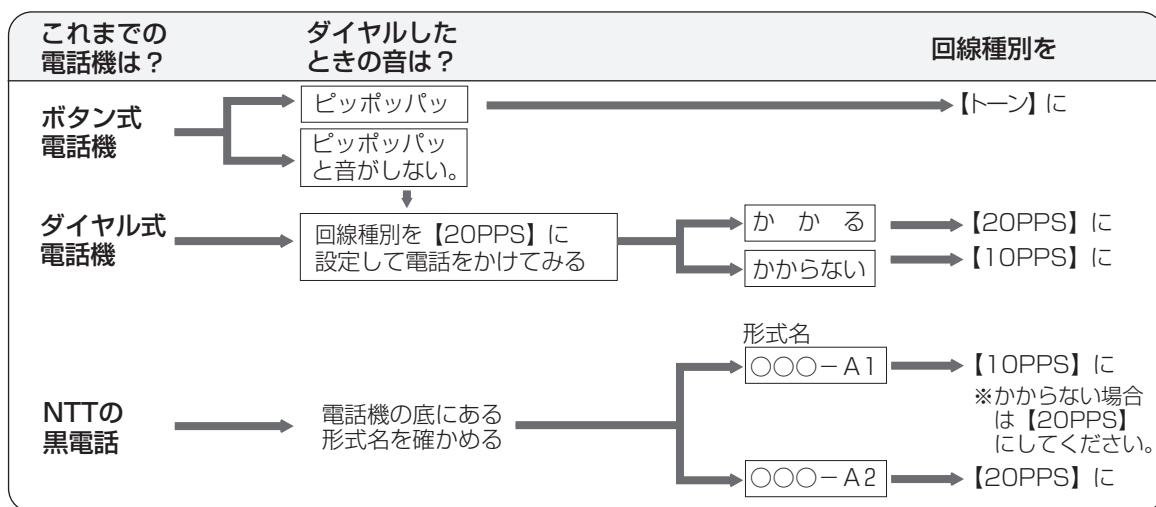
登録/機能　①初期登録　②おもしろ機能設定　③音関…　④メモ録…　⑤コピー設定　1回タッチ　タッチで選択、タッチで決定　戻る

3 「回線種別選択」に２回タッチする

初期登録　①日付…　②発信…　③発信…　④回線種別選択　2回タッチ　タッチで選択、タッチで決定　戻る

4 お使いの電話回線種別をタッチして選ぶ
「20PPS」
「トーン」
「10PPS」
「自動設定」

回線種別選択　①20 PPS　②トーン　③10 …　④自動…　1回タッチ　タッチで選択、タッチで決定　戻る

※「自動設定」は、もう一度自動で回線種別を設定するときに選びます。
ただし、10PPS回線には設定されません。

5 選んだ電話回線種別をもう一度タッチして決定する

6 おわる **にタッチする**

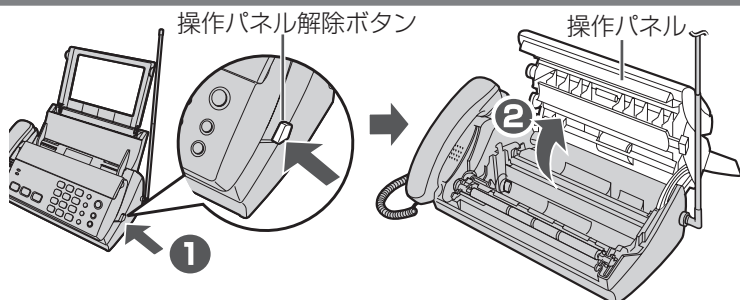
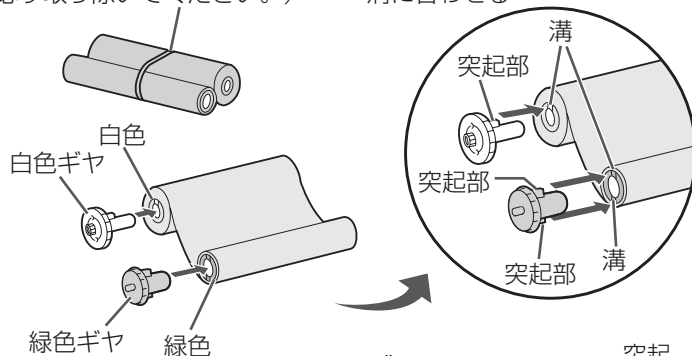
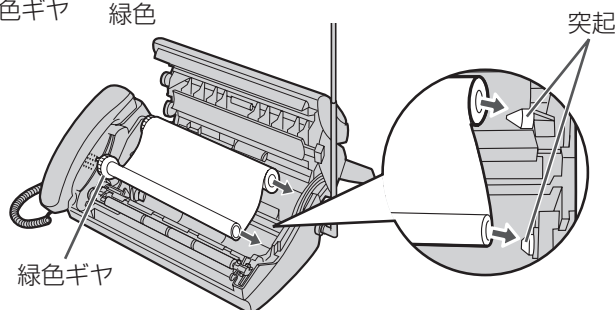
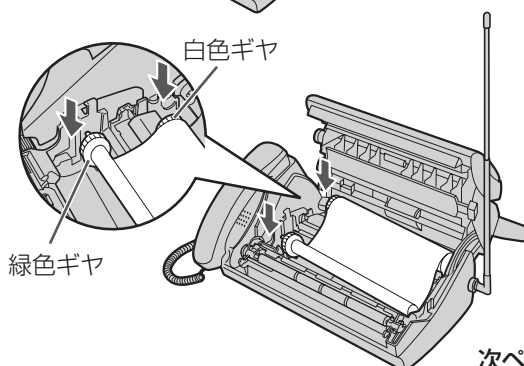
●回線の種類がわからないときは
回線の種類は、次の方法で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのNTT支店、営業所にお問い合わせください。

インクリボンをセットする

はじめてお使いになるときは、付属のインクリボンをセットしてください。
あらかじめお買い求め時に付属しているインクリボンはお試し用のため、消耗品として別売しているものにくらべて長さが短くなっています。お早めに別売品のインクリボンを準備してください。

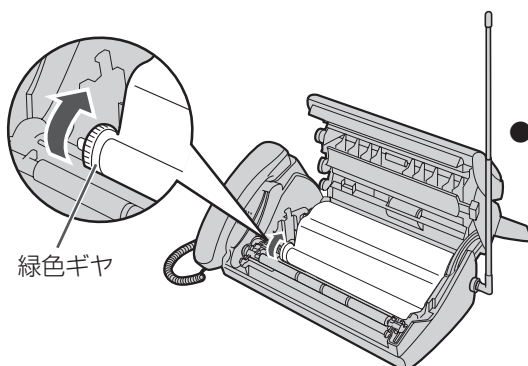
インクリボンは、必ず当社推奨品をお使いください。
ファクシミリ用Ｐ形 A4 インクリボン（5）
インクリボン50mでA4原稿を通常使用で約150枚プリントすることができます。（☞9-2ページ）
（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

ワイヤレスカラー液晶を取り外してから操作してください。

操作のしかた

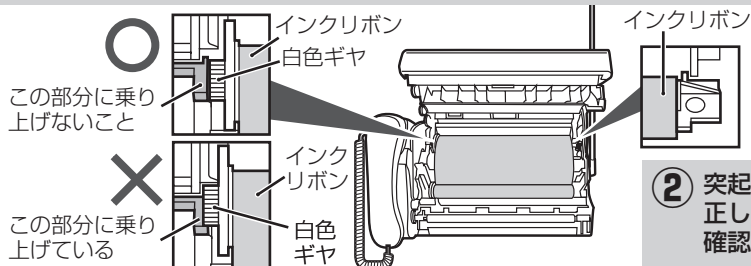
1 操作パネル解除ボタンを押して操作パネルを開ける
- 操作パネルをいっぱいに開けるととまります。

2 インクリボンの芯の色に合わせて、緑色ギヤと白色ギヤを差し込む
- ギヤの突起部分をインクリボンの溝にしっかりと合わせてください。

3 緑色ギヤを左手前にして本体右側の突起にインクリボンの芯の右側をそれぞれ差し込む

4 インクリボンの左側の白色ギヤは左奥側の溝へ、緑色ギヤは左手前の溝へ取り付ける

次ページへ→

→つづき

5 緑色ギヤを矢印の方向へ 2 ～ 3 回まわしてインクリボンのたるみを取る

●インクリボンの上にラベルが貼られているときは、貼っているラベルがかくれるまで巻き取ってください。

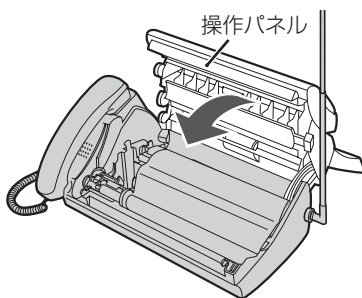
操作パネルを閉める前に確認してください。

インクリボン取り付けが終わったら、操作パネルを閉める前に、もう一度次の①、②を確認してください。**①、②が正しくできていないまま無理に操作パネルを閉じると、インクリボンのギヤや本体が破損する恐れがあります。**

① インクリボン装着時、白色ギヤが左側に乗り上げて、斜めにセットされないようご注意ください。
（白色ギヤが溝に正しくセットされているか確認してください）

② 突起にインクリボンの芯が正しく差し込まれているか確認してください。

6 操作パネルを閉めて、ワイヤレスカラー液晶を取り付ける

（☞1-22ページ）

●操作パネルを閉めるときは、手をはさまないように、注意してゆっくり閉めてください。

●ワイヤレスカラー液晶を取り付けたあと、「記録紙／インクリボン確認」の表示が約10秒以上たっても消えないときは、インクリボンがたるんでいます。
こんなときは、もう一度手順 1 → 5 → 6 の順で操作をやり直してください。

■ **使用済みインクリボンの取り扱いについて**

● ご使用済みのインクリボンにはコピーや受信したときの内容がフィルム上に白く残っています。コピーや受信した内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、お捨てください。

● また、ご使用済みのインクリボンは「不燃ゴミ」としてお捨てください。（地域によっては、インクリボンのフィルムは「燃える」ゴミとして取り扱われている場合もあります。）

・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。

・インクリボンの芯は紙、ポリスチレンでできています。

お知らせ

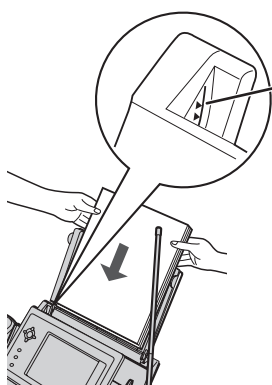
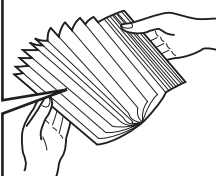
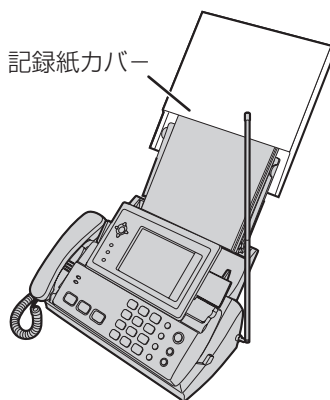
● インクリボンは必ず当社推奨品をお使いください。（☞9-2ページ）当社推奨品以外のインクリボンをご使用になると、故障や印刷かすれの原因になることがあります。

記録紙をセットする

１度に30枚まで、記録紙をセットできます。

記録紙は、A4サイズの当社推奨品をお使いください。(☞9-2ページ)
推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用するとプリントがかすれたり、濃く、または薄くプリントされることがあります。
●普通紙（ST-149FAX）
（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

操作のしかた

1 プリントする面をウラ向きにし、記録紙ホルダーにセットする（一度に30枚まで）

2 記録紙カバーを取り付ける

- 記録紙カバーが壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。
  このようなときは、親機の設置位置を少し前に寄せてください。
- 記録紙を強く差し込まないでください。

■ 記録紙を追加するときは

いったん記録紙を全部抜き取ってから、再度セットしてください。
プリント中は、記録紙を追加しないでください。

■ 記録紙がつまったときは（☞8-8ページ）

■ 記録紙を取り出すときは

① 記録紙カバーを取り外す
　記録紙カバーを上に引き抜きます。
② 記録紙を取り出す

お知らせ

- しわや折り目のあるもの、反っているもの、また破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- プリント中に記録紙ホッパーや記録紙ホルダーを引き抜かないでください。
- 長期間、記録紙ホルダーに記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。

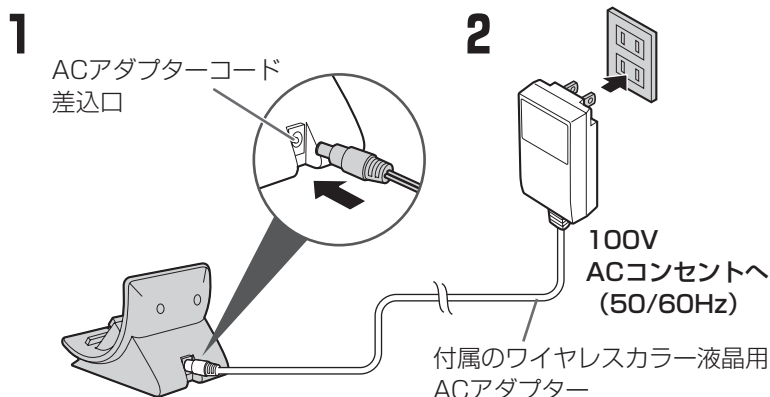
ワイヤレスカラー液晶用充電器を使う

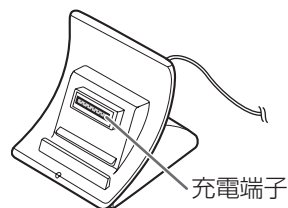
充電器をACアダプターと接続して電源コンセント（AC100V）に差し込みます。

充電器を接続する

操作のしかた

1 充電器にACアダプターを接続する

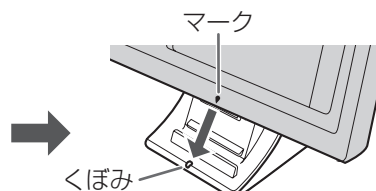
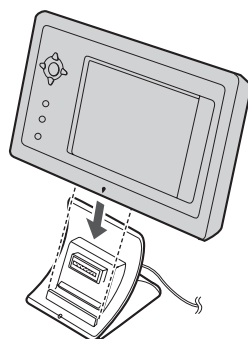
2 ACアダプターをコンセントに差し込む

お知らせ

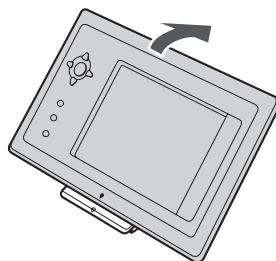
- 充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。

- ワイヤレスカラー液晶用充電器は、充電端子が汚れていたり、異物がついていたりすると充電できないことがあります。いつもきれいにしておいてください。（☞8-6ページ）
- ワイヤレスカラー液晶や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、電子レンジ、Bluetooth™機器、802.11b規格の機器などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）ワイヤレスカラー液晶の呼出音が鳴らなくなることがあります。

ワイヤレスカラー液晶を充電器に取り付ける／取り外す

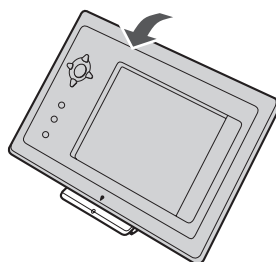
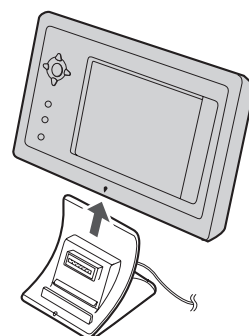
ワイヤレスカラー液晶を充電器に取り付けると自動的に充電がはじまります。

操作のしかた

1 ワイヤレスカラー液晶をやや斜めにしてまっすぐ下げる

● ワイヤレスカラー液晶の下のマークと充電器のくぼみをあわせてください。

2 ワイヤレスカラー液晶を充電器側に軽く倒す

● ワイヤレスカラー液晶背面の充電端子が接続されます。
● ワイヤレスカラー液晶のバックライトが消灯すると、自動的に充電が開始されます。

取り外すときは

1 ワイヤレスカラー液晶を手前側に少し起こす

2 ワイヤレスカラー液晶をまっすぐ持ち上げる

⚠注意

● ワイヤレスカラー液晶を充電器に取り付けるときは、正しく取り付けてください。振動などで落下して、けがや破損の原因となることがあります。

お知らせ

● 充電中はワイヤレスカラー液晶や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。

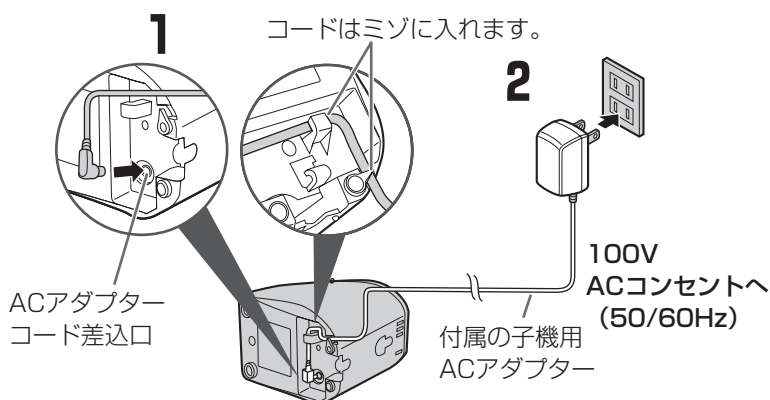
子機を充電する

充電器をACアダプターと接続して電源コンセント（AC100V）に差し込みます。また、子機を壁に掛けて使うこともできます。

充電器を接続する

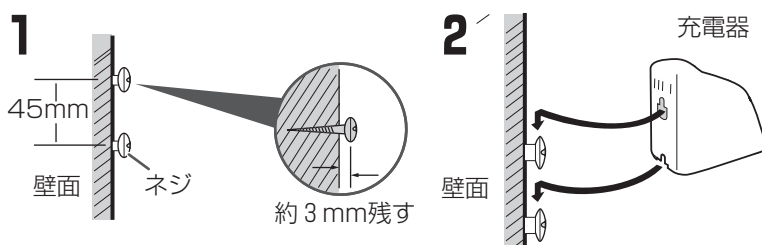
操作のしかた

1 充電器にACアダプターを接続する

2 ACアダプターをコンセントに差し込む

子機を壁に掛けて使う

操作のしかた

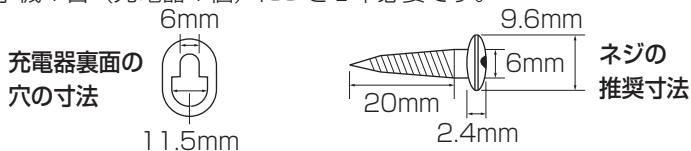
1 ネジをしっかりとした壁や柱に取り付ける

2 充電器を取り付ける

- 壁や柱に取り付けるときは、しっかりとした、一定の厚み（2cm以上）のある所へ取り付けてください。
- ACアダプターのコードを壁面と充電器の間にはさまないようにしてください。

●壁掛け用ネジは付属していません。
取り付ける場合は、図の推奨寸法に近いネジをお買い求めください。
子機 1 台（充電器 1 個）につき 2 本必要です。

充電器裏面の穴の寸法
6mm
11.5mm

ネジの推奨寸法
9.6mm
6mm
20mm
2.4mm

壁掛用取り付け寸法
45 mm

お知らせ

- 充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。
- 子機の充電器は、充電端子が汚れていたり、異物がついていたりすると充電できないことがあります。いつもきれいにしておいてください。（☞8-6ページ）
- 充電中は子機や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。

充電池をセットして子機を充電する

はじめてお使いになるときは、
必ず10時間以上充電してください。

子機の充電池の寿命

- 充電池にも寿命があります。古くなると充電しても使えなくなります。
- 使用頻度にもよりますが、約1年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときは新しい別売の充電池に交換してください。
- 当社専用の充電池をご使用ください。
（☞9-2ページ）

通話時間について

いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は

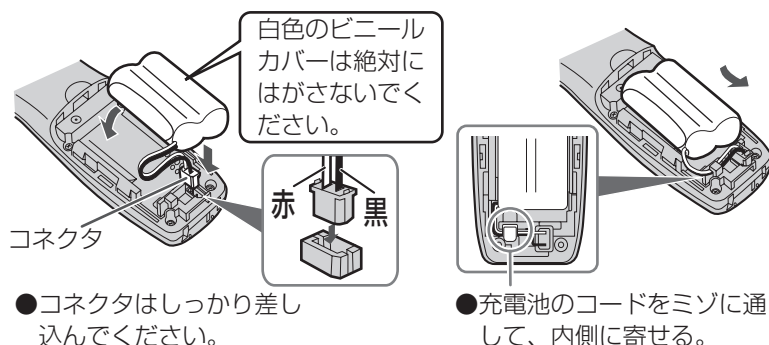
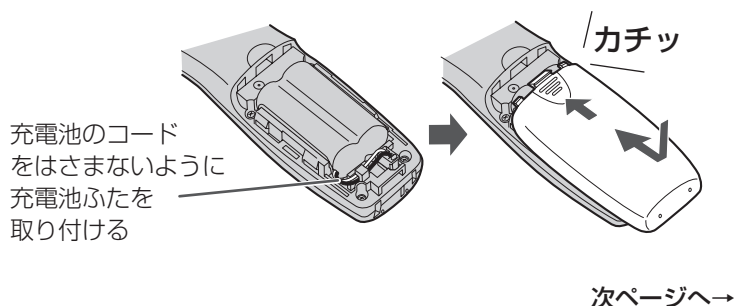
- 通話状態で**約 6 時間**です。
- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます。（子機のディスプレイに“要充電”が表示されます。）このときは、いったん電話を切って充電するか、親機（ワイヤレスカラー液晶）に転送してお話しください。
- スピーカーホン通話（☞2-8～2-9ページ）でお話しすると通話できる時間は短くなります。

操作のしかた

1 充電池のコネクタを接続して充電池を入れる

- コネクタはしっかり差し込んでください。
- 充電池のコードをミゾに通して、内側に寄せる。

2 充電池ふたを取り付ける

次ページへ→

→つづき

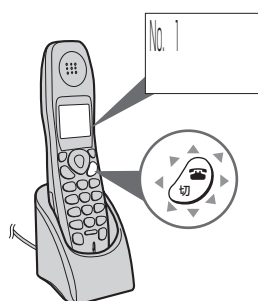
3 子機を充電器に置く

ボタン面を手前に向けて置いてください。逆向きに置くと充電されません。

はじめてお使いになるときは、切ボタンが点灯してから

10時間以上充電

してください。

子機を充電器に置くだけで、自動的に電源が入り（切ボタン点灯）、充電が始まります。

●ディスプレイに表示される“ No. 1 ”などの番号は、子機の内線番号です。内線通話やとりつぎ転送するときに使います。（☞2-35、2-37ページ）

お知らせ

- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。
- はじめて子機を充電するときは、切ボタンが点灯しても、液晶ディスプレイに“ No. 1 ”が表示されるまで時間がかかることがあります。
- 充電中は充電器や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 旅行や長期不在により子機を使用されないときは、充電池のコネクタを外しておくことをおすすめします。

ワイヤレスカラー液晶を使う

基本的な使い方

ワイヤレスカラー液晶は次のような使い方ができます。

■ **親機に取り付けたまま使う**

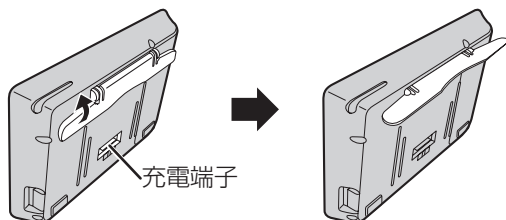
ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付ける／取り外す（☞1-22ページ）

■ **テーブルなどの上に置いて使う**

ワイヤレスカラー液晶を親機や充電器から取り外して使っているときは、電池残量に注意してお使いください。（☞1-9ページ）
電池残量がなくなったときはワイヤレスカラー液晶を親機や充電器に取り付けてお使いください。（☞1-22、1-32ページ）

■ **充電器にセットして使う**

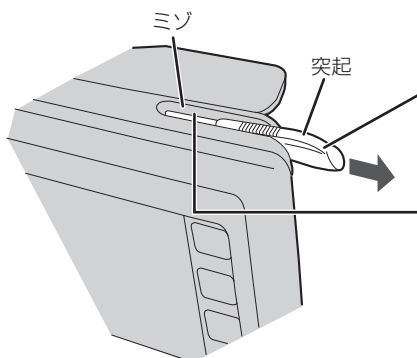
付属の充電器をお好きな場所に設置して、使うことができます。
ワイヤレスカラー液晶を充電器にセットする（☞1-32ページ）

ワイヤレスカラー液晶背面のスタンドを立ててから、テーブルなどの上に置いてお使いください。

※充電端子に触らないでください。また、充電端子に物をあてたりして、強い力をかけないようにしてください。
※充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。

お知らせ

● ワイヤレスカラー液晶が点灯中は、ワイヤレスカラー液晶があたたかくなりますが異常ではありません。

タッチペンを取り出す／取り付ける

タッチペンを正しく取り出します。また、取り付けます。

1 ワイヤレスカラー液晶の上面に取り付けられているタッチペンをまっすぐ引き出す

2 タッチペンを取り付けるときは、ミゾとタッチペンの突起部分が合うように、ゆっくり奥まで入れる

タッチペンがロックされ、出てこないことを確かめてください。

※向きを誤って、むりやり差し込むと取りだせなくなることがあります。

お知らせ

● タッチペンを使い終わったら、必ずワイヤレスカラー液晶に取り付けてください。

タッチペンを使って操作する

付属のタッチペンを使うときは、次のように操作します。

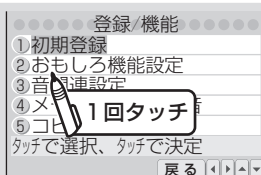
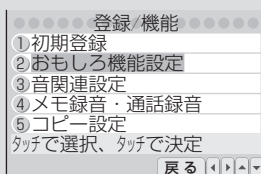
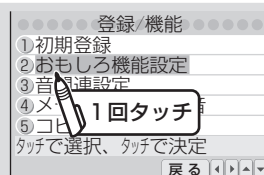
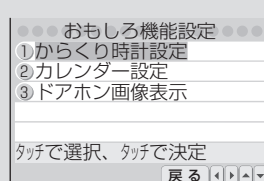
① 選びたい項目をタッチする（選んだ項目は水色のカーソルなどで表示されます。）

② 選んだ項目をもう一度タッチして決定する（選んだ項目が決定されて次の画面が表示されます。）

Lモード操作中は１回タッチするとタッチした項目が決定されます。

ここでは、登録設定メニューから「おもしろ機能設定」を選ぶ場合を例に説明しています。

操作のしかた

1 選びたい項目に１回タッチする

１回タッチするとタッチした項目が水色のカーソルなどで表示されます。

2 選ばれている項目にもう一度タッチする

タッチすると選ばれている項目が決定されて次の画面が表示されます。

⚠注意

● 付属のタッチペンの取り扱いは十分注意し、使わないときはワイヤレスカラー液晶に戻しておいてください。紛失したり、踏み付けなどによるけがの原因となることがあります。

タッチペンを使わないで操作する

タッチペンを使わないで操作するときは、スクロールキーや決定ボタンを使って次のように操作します。

① ▲ ▼ を数回押して項目を選ぶ

（▲（上）▼（下）を押して、選びたい項目に水色のカーソルなどを移動させせます。）

② 決定 を押して決定する（選んだ項目が決定されて次の画面が表示されます。）

ここでは、登録設定メニューから「おもしろ機能設定」を選ぶ場合を例に説明しています。

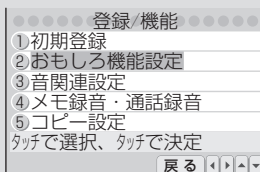
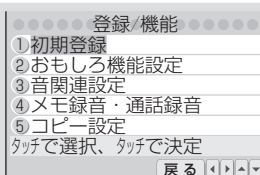
操作のしかた

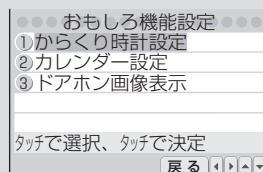
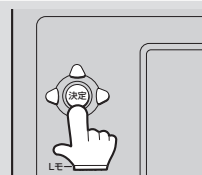
1 ▲ ▼ を押して項目を選ぶ

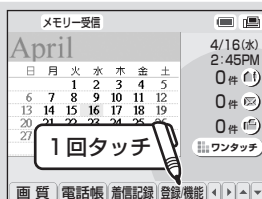
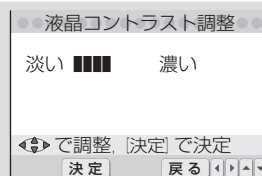
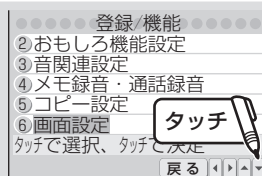
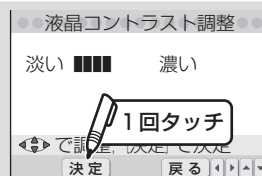
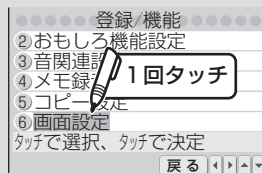
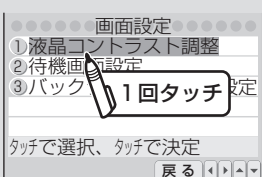
登録/機能
①初期登録
②おもしろ機能設定
③音関連設定
④メモ録音・通話録音
⑤コピー設定
ﾀｯﾁで選択、ﾀｯﾁで決定
戻る

▼ を１回押すとカーソルの部分が下に移動します。この場合は、「おもしろ機能設定」にカーソルが移動します。

登録/機能
①初期登録
②おもしろ機能設定
③音関連設定
④メモ録音・通話録音
⑤コピー設定
ﾀｯﾁで選択、ﾀｯﾁで決定
戻る

● 1つ前の画面に戻るときは、◀ を押します。

2 決定 を押す

決定 を押すと選ばれている項目が決定されて次の画面が表示されます。

コントラストを調整する

ワイヤレスカラー液晶の表示の濃さを調整することができます。

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

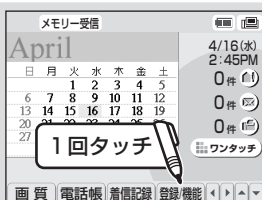
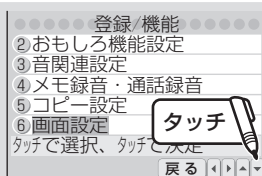
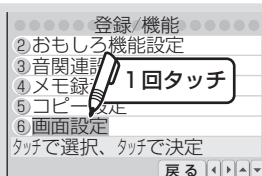
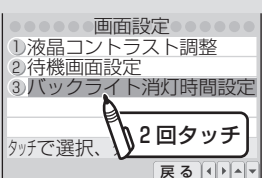
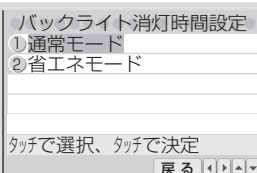
■ **1つ前に戻るときは**

戻る にタッチします。

バックライトの消灯時間を設定する

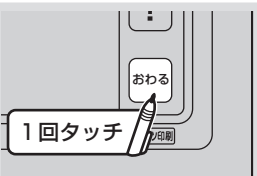
待機画面が表示されてから、一定の時間何も操作を行わなかったときは、ワイヤレスカラー液晶のバックライトが自動的に消灯します。そのときの時間を設定します。ワイヤレスカラー液晶を親機や充電器に取り付けていないときは自動的に省エネモード（約 4 ～ 5 分後に消灯）で動作します。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 登録/機能 **にタッチする**

2 ▲ **または** ▼ **にタッチして「画面設定」を選ぶ**

3 「画面設定」にもう一度タッチする

4 「バックライト消灯時間設定」に 2 回タッチする

5 設定するモードをタッチして選ぶ

●通常モード……待機画面になってから約10分後に消灯します。

●省エネモード…待機画面になってから約 4 ～ 5 分後に消灯します。

6 選んだモードをもう一度タッチして決定する

7 おわる **にタッチする**

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

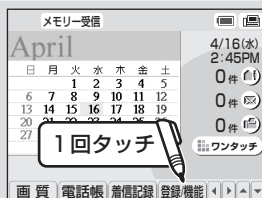
■ **1 つ前に戻るときは**

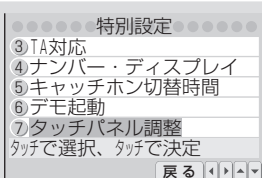
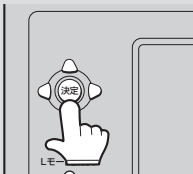
戻る にタッチします。

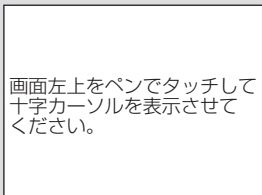
タッチパネルを調整する

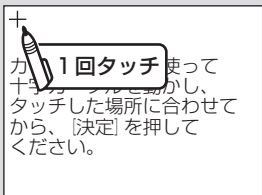
タッチペンを使っているとき、ボタンなどが反応しなかったり、違うボタンが働くなど、タッチした位置が画面の位置とずれているときに、ずれを修正します。

操作のしかた タッチペン　取り外してもOK！

1 登録/機能 **にタッチする**

2 操作ガイド ? **に4回タッチする**

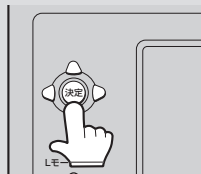
3 ▲ **または** ▼ **を押して「タッチパネル調整」を選ぶ**

4 決定 **を押す**

5 画面左上の任意の位置にタッチする

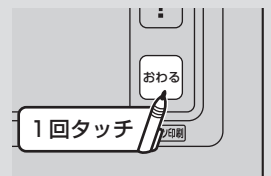
画面左上をペンでタッチして十字カーソルを表示させてください。

タッチした位置と十字カーソルの位置がずれているときは**ペンでタッチしたまま**手順6の操作をします。

タッチした位置からペン先を動かさないようにしてください。

6 ▲ ▼ ◀ ▶ **を押して、タッチした位置と十字カーソルの位置を合わせる**

例：こんなときは

▼ を何度か押して、十字カーソルをペン先の位置に合わせます。

7 決定 **を押す**

8 画面左下、右下、右上の順に、手順5～7と同じ操作をくり返す

9 おわる **にタッチする**

■ **途中でやめるときは**

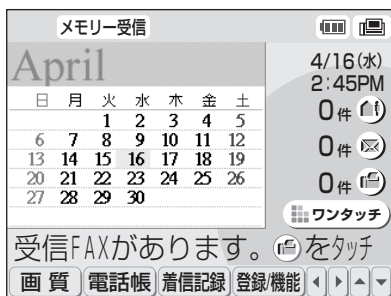
おわる にタッチします。

お知らせ

● 正しく設定できなかったときは、もう一度操作をやり直してください。

操作ガイドを使う（ワイヤレスカラー液晶）

操作ガイドを表示する

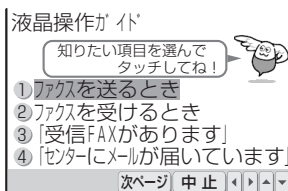
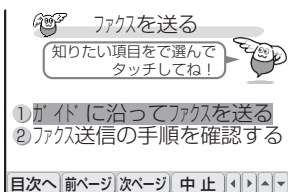
操作ガイド ? をタッチすると基本的なファクスの送受信の方法やＬモード、エラー表示についての説明がディスプレイに表示されます。

- ディスプレイが点灯していて、待機画面に「受信FAXがあります。…」やエラー表示などのメッセージが表示されているときは、操作ガイド ? にタッチすると、解除手順などを説明する操作ガイドが表示されます。上記の目次画面を表示したいときは、目次へ にタッチしてください。
  メッセージが表示されていないときに 操作ガイド ? にタッチすると上記の目次画面から表示します。
- ディスプレイが消灯しているときに、メール／お知らせランプが赤色点滅している場合は、ディスプレイをタッチして内容を確認してから 操作ガイド ? にタッチしてください。

操作ガイドに沿ってファクスを送る

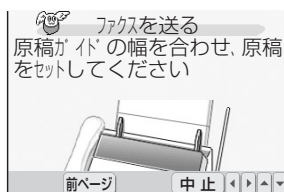
操作のしかた

タッチペン

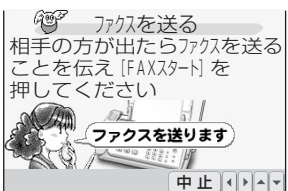
ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外す

操作ガイド
[?] にタッチする

「ファクスを送るとき」にタッチする

「ガイドに沿ってファクスを送る」にタッチする

次ページ にタッチする

次ページ にタッチする

原稿をセットする

相手のファクス番号をダイヤルする

ダイヤル後、次ページ にタッチする

FAXスタート を押す

受話器を戻す

ファクス送信が始まります。

お知らせ

- 操作ガイドを表示しているときは、子機で電話をかけることはできません。

呼出音量や呼出音の種類を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

親機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

受話器を置いた状態で

（音量）をくり返して押す

●はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。

●ボタンをくり返して押すと5段階に設定できます。

親機の呼出音を鳴らさないようにする

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、液晶ディスプレイの表示と着信/外線使用中ランプの点滅でわかります。

受話器を置いた状態で

（音量）を5秒以上（「ピー」という音が鳴るまで）押し続ける

ワイヤレスカラー液晶のディスプレイに が表示されます。再び、呼出音を鳴らすときは、（音量）ボタンを押します。

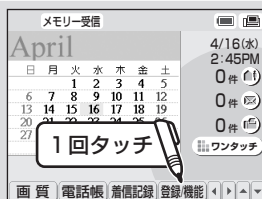
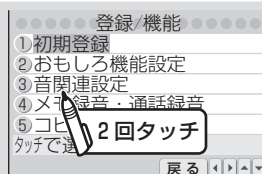
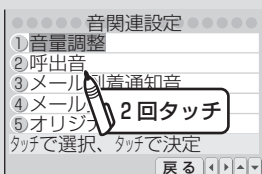
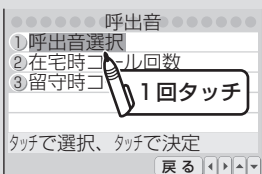
お知らせ

● 「切」にしているときでも、内線からの呼出音やＬモードのメール到着通知音、ドアホンからの呼出音は鳴ります。

親機／ワイヤレスカラー液晶の呼出音の種類を変える

電話がかかってきたときの呼出音の種類を変えることができます。
親機およびワイヤレスカラー液晶の呼出音として、あらかじめ6種類のメロディーが内蔵されています。
また、「Lモード」を利用すると、さらに10種類（16和音）のメロディーをダウンロードして利用することもできます。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 登録/機能 **にタッチする**

2 「音関連設定」に2回タッチする

3 「呼出音」に2回タッチする

4 「呼出音選択」にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

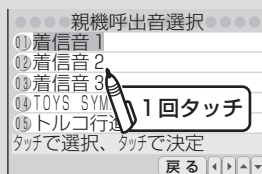
■ **1つ前に戻るときは**

戻る にタッチします。

■ **設定した親機／ワイヤレスカラー液晶の呼出音を確認したいときは**
（親機の呼出音量を変える ☞1-44ページ**）**
（ワイヤレスカラー液晶の呼出音量を変える ☞1-46ページ**）**

お知らせ

- 内線からの呼出音は、常に「プルルル、プルルル」です。
- ワイヤレスカラー液晶を取り外しているときの親機の呼出音は「着信音1」になります。

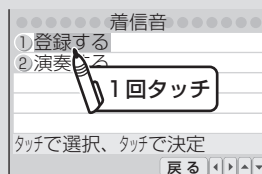
5 設定する呼出音をタッチして選ぶ

●はじめは（お買いあげ時は）着信音1に設定されています。

固定メロディ	01	着信音1
	02	着信音2
	03	着信音3
	04	TOYS SYMPHONY
	05	トルコ行進曲
	06	華麗なる大円舞曲
「Lモード」からのダウンロード※	07 〜 16	（ダウンロードメロディー1〜10）「Lモード」からメロディーをダウンロード（☞6-57ページ）すると表示されます

※07〜16の呼出音は、「Lモード」からメロディーをダウンロードした場合に表示されます。

●画面に表示されていない項目を選ぶときは、▲または▼にタッチして選びたい項目を表示させます。

6 選んだ呼出音をもう一度タッチして決定する

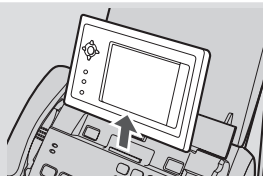
7 「登録する」にタッチする

●呼出音を試聴したいときは、「演奏する」に2回タッチします。聞き終わったら、中止 にタッチします。

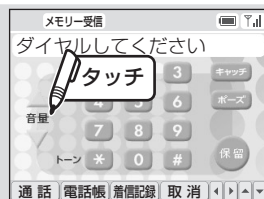
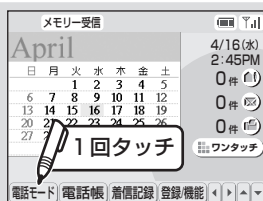
8 おわる **にタッチする**

ワイヤレスカラー液晶の呼出音量を変える

ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しているときの呼出音の大きさを変えることができます。

操作のしかた タッチペン　置いたまま

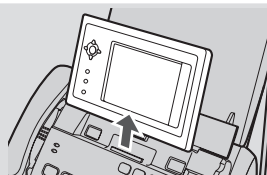
1 ワイヤレスカラー液晶を取り外す
（☞1-22ページ）

2 電話モード にタッチする

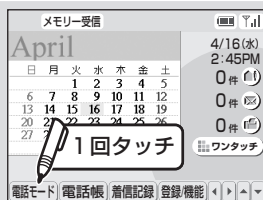
3 音量▲▼ にタッチして音量を変える

● 5 段階に設定できます。

4 おわる にタッチする

●ワイヤレスカラー液晶を取り付けます。

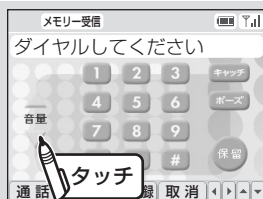
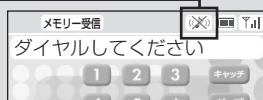
ワイヤレスカラー液晶の呼出音を鳴らさないようにする

ワイヤレスカラー液晶を親機から取り外しているときに、呼出音を鳴らさないようにすることができます。
このとき電話の着信は、通話ボタンや着信ランプの点滅でわかります。

操作のしかた タッチペン　置いたまま

1 ワイヤレスカラー液晶を取り外す
（☞1-22ページ）

2 電話モード にタッチする

3 音量▼ に約 5 秒間タッチする

マークが点灯します。

4 おわる にタッチする

●ワイヤレスカラー液晶を取り付けます。

お知らせ

● ワイヤレスカラー液晶を親機に取り付けているときは、呼出音量の設定が親機の呼出音量（☞1-44ページ）と同じ設定になります。

子機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときや、ドアホンの呼出音の大きさを変えることができます。

通話ボタンを消灯させた状態で
（音量）を押す

はじめは「大」になっています。
小⟷大の 2 段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。音は現在設定している呼出音で鳴ります。）

子機の呼出音を鳴らさないようにする

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、通話ボタンや着信ランプの点滅でわかります。

通話ボタンを消灯させた状態で
（音量）を 2 秒以上（ピー音が鳴るまで）押し続ける

ディスプレイに 呼出音切 が表示されます。
再び呼出音を鳴らすときは （音量）ボタンを押します。

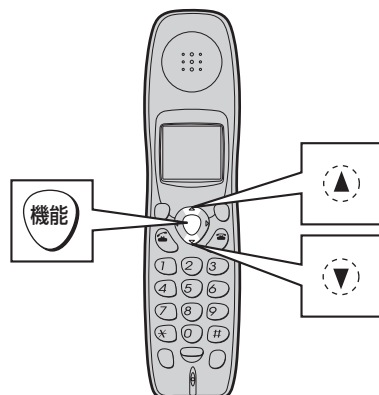
お知らせ

● 呼出音切 に設定しているときでも、内線やドアホンからの呼出音は鳴ります。

子機の呼出音の種類を変える

子機の呼出音は、あらかじめ9種類内蔵されています。
さらに、自分で作曲できるオリジナルメロディー（☞5-8～5-13ページ）を1種類登録できますので、合わせて10種類の中から1つ選ぶことができます。

操作のしかた

 消灯

1 機能 **を押し、▲ または ▼ で「チャクシンネイロ」を選ぶ**

チャクシンネイロ

2 機能 **を押す**

▲▼:ネイロセンタク

●現在設定されている呼出音が鳴ります。

3 ▲ **または** ▼ **で呼出音の種類を選ぶ**

●選ぶたびに、呼出音（確認音）が鳴ります。

種類	番号	呼出音
固定メロディー	01	「プルルル　プルルル」
	02	「ポロロロ　ポロロロ」
	03	「ショートメロディ①」
	04	「ショートメロディ②」
	05	「ショートメロディ③」
	06	「展覧会の絵」
	07	「エリーゼのために」
	08	「のばら」
	09	「春」
オリジナルメロディー	10	「オリジナル」※

※「自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）」（☞5-8～5-13ページ）で作ると選ぶことができます。

4 機能 **を押す**

●「ピー」と鳴って設定されます。

■ **途中でやめるときは**

切 を押します。

お知らせ

● 内線からの呼出音は、常に「プルルル、プルルル」です。

受話音量やスピーカーの音量を変える

相手の声が聞きとりにくいときは、受話器やスピーカーから聞こえる音の大きさを変えることができます。

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

受話器を取って

（音量）を続けて押す

- はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。
- ボタンを続けて押すと５段階に設定できます。
- はじめは「２」に設定されています。

親機のスピーカー音量を変える

録音再生時にスピーカーから聞こえる音の大きさや、通信時の音声ガイダンス（「ファクスを送信します。」など）の大きさ、留守録の応答メッセージの大きさ、読上げボイスダイヤル機能（☞5-5ページ）の音の大きさを変えることができます。

オンフック を押し、

「ツー」という音が聞こえているときに

（音量）を続けて押す

- はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。
- ボタンを続けて押すと５段階に設定できます。
- はじめは「３」に設定されています。

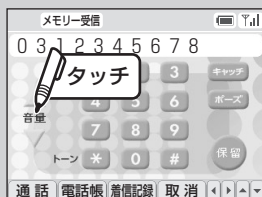
■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（親機送話音量を調整する　☞8-2ページ）**

■ **親機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を鳴らさないようにするときは（☞5-15ページ）**

ワイヤレスカラー液晶のスピーカー音量を変える

スピーカーホン通話しているときなどスピーカーから聞こえる大きさを替えることができます。

通話中に

にタッチする

● 音量▲ にタッチすると、音量を大きくできます。
● 音量▼ にタッチすると、音量を小さくできます。
● 5 段階に設定できます。
●はじめは「3」に設定されています。

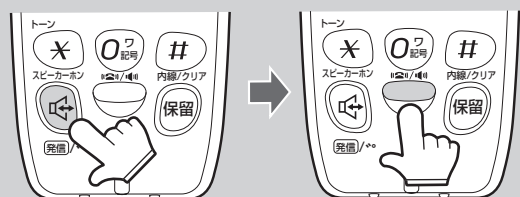
子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

通話中に
大きくするときは △ を押す
小さくするときは ▽ を押す

はじめは「標準」になっています。
標準⟷特大の２段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

子機のスピーカー音量を変える

スピーカーホン通話しているときや、録音再生時などスピーカーから聞こえる大きさを変えることができます。

スピーカーホン **を押し、**

「ツー」という音が聞こえているときに
（音量）を押す

はじめは「標準」になっています。
標準⟷大の２段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（子機送話音量を調整する** **☞8-2ページ）**

■ **子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは（子機受話音量を調整する** **☞8-3ページ）**

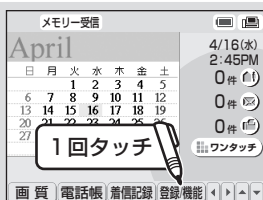
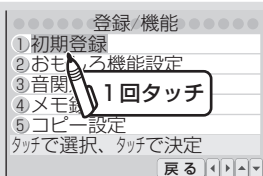
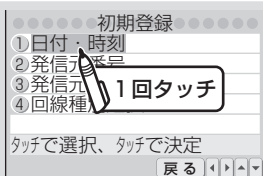
■ **子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音を鳴らさないようにするときは** **（☞5-16ページ）**

日付と時刻を合わせる

ワイヤレスカラー液晶の日付と時間を合わせる

ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻、曜日をプリントします。また、留守番電話で用件が録音された日付や時刻を確認したりすることもできます。
（ワイヤレスカラー液晶の日付・時刻は、お買いあげ時にあらかじめ設定されています。）

操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 登録/機能 **にタッチする**

2 「初期登録」にタッチする

3 「日付・時刻」にタッチする

4 日付を入れる（☞1-68ページ）

●ディスプレイに表示されているキーにタッチして入力します。

２００３年　４月　１６日

日付を修正しないときは、▼にタッチして手順５へ

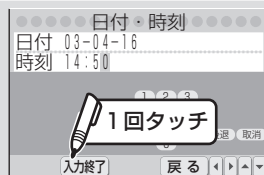
●数字を入れまちがえたときは、取消 にタッチして、もう一度入れ直します。

●年は西暦年の下２桁を入れます。
【年入力】
２００３年 ⇒ ０３
〜
２０４８年 ⇒ ４８

5 時刻を入れる（☞1-68ページ）

時刻は24時間制で入れます。

午後２時　５０分

6 入力終了 **にタッチする**

● 0 秒から時計がスタートします。

7 おわる **にタッチする**

■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。

■ １つ前に戻るときは

戻 る にタッチします。

お知らせ

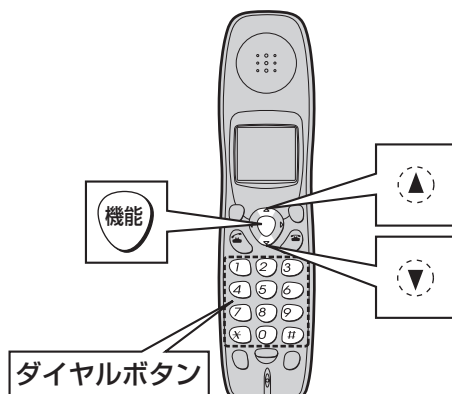
● 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）

● 日付が入れば、曜日は自動的に設定されます。年は送信したファクスにプリントされます。また、カレンダーでも表示されます。

● ワイヤレスカラー液晶の日付・時刻設定は親機に記憶されます。ワイヤレスカラー液晶が使用範囲を越えるなどすると、一時的に日付・時刻が合わなくなることがありますが、使用範囲内に戻すか親機に取り付けると、正常に戻ります。

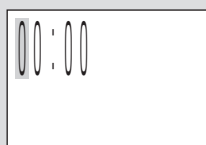
子機の時刻を合わせる

子機の時刻を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。(ワイヤレスカラー液晶の時刻を合わせても子機の時刻は合いません。)

操作のしかた 通話 消灯

1 機能 を押し、▲ または ▼ で「トケイトウロク」を選ぶ

トケイトウロク

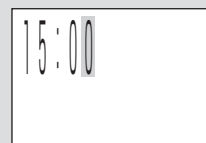
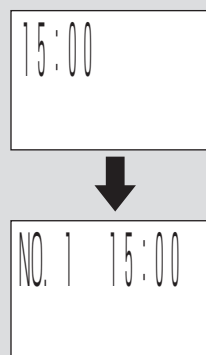
2 機能 を押す

00:00

3 ダイヤルボタンで時刻を入れる

時刻は24時間制で入れます。

例：1 5 0 0
午後3時 00分

● 1ケタのときは、最初「0」をつけて入れます。
例：0 9 0 8
午前9時 8分

●数字を入れまちがえたときは、▶ または ◀ でまちがえた数字を選んで、もう一度、入力し直します。

4 機能 を押す

●「ピー」と鳴ったあと待機画面に戻り、0秒から時計がスタートします。

■ 途中でやめるときは

切 を押します。

■ 「ピピピピ」と鳴ったときは

時刻として入力できる範囲を超えた数字が入力されています。はじめから入力をやり直してください。

お知らせ

● 充電池のコネクタが外れたり、充電池の容量がなくなると、設定した時刻は消えてしまいます。再度、登録してください。
● 操作の途中で約2分間何もしないでいると、待機画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。

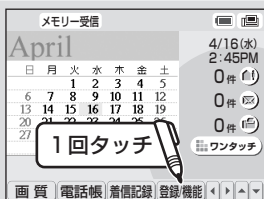
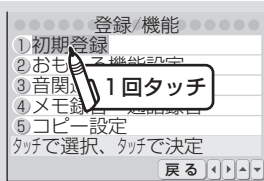
あなたの電話番号や名前を登録する（ワイヤレスカラー液晶）

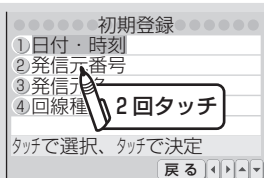
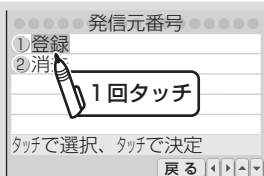
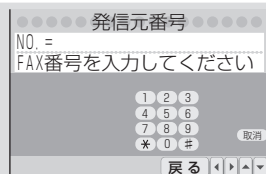
あなたの電話番号を登録する

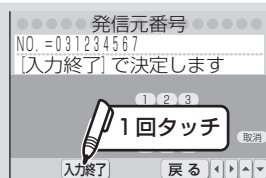
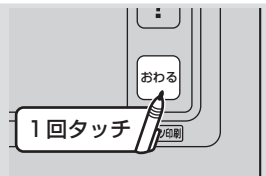
登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。

操作のしかた

 タッチペン 取り外してもOK！

1 登録/機能 にタッチする

2 「初期登録」にタッチする

3 「発信元番号」に2回タッチする

4 「登録」にタッチする

5 電話番号（FAX番号）を入れる（最大20ケタ）
（☞1-68ページ）

● ＊ にタッチすると「＋」を入力できます。
 ＃ にタッチすると「スペース（空白）」を入力できます。

6 入力終了 にタッチする

7 おわる にタッチする

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **1つ前に戻るときは**

戻る にタッチします。

■ **登録した電話番号を消すときは**

① 手順1～3の操作を行う
② 「消去」に2回タッチする
③ 「する」に2回タッチする
④ おわる にタッチする

■ **登録した電話番号を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。

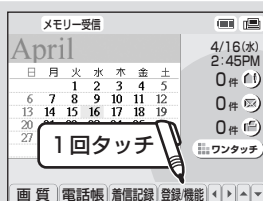
あなたの名前を登録する

登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の記録紙にプリントされます。

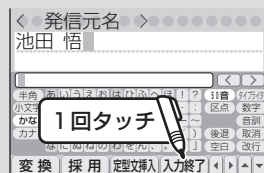
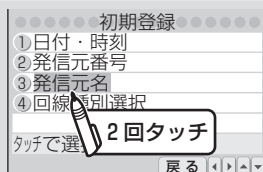
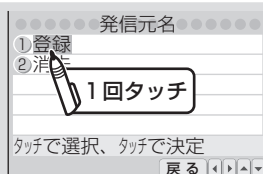
操作のしかた　タッチペン　取り外してもOK！

1 登録/機能 **にタッチする**

2 「初期登録」にタッチする

3 「発信元名」に2回タッチする

4 「登録」にタッチする

5 名前を入れる（最大全角12文字／半角24文字）
（☞1-56～1-69ページ）

6 入力終了 **にタッチする**

7 おわる **にタッチする**

■ **途中でやめるときは**

おわる にタッチします。

■ **1つ前に戻るときは**

戻る にタッチします。

■ **登録した名前を消すときは**

① 手順1～3の操作を行う
② 「消去」に2回タッチする
③ 「する」に2回タッチする
④ おわる にタッチする

■ **登録した名前を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。

ワイヤレスカラー液晶で文字を入力する

文字入力と入力ボードの種類

文字は付属のタッチペンを使って、文字入力画面の入力ボードから入力します。文字入力画面は、登録や設定操作で文字入力がある場合に表示されます。
ワイヤレスカラー液晶では5種類の入力ボードがあります。入力のしかたや入力する文字によって自由に選ぶことができます。

入力ボード

(メール入力時の表示)

(メール入力時の表示)

(メール入力時の表示)

●**50音ボード**
50音の読みで、ひらがな・カタカナ・漢字などを入力できます。

●**タイプライタボード**
英文タイプライターと同じキー配列でローマ字変換ができます。ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字などを入力できます。

●**数字入力ボード**
入力ボード上の数字や記号を入力できます。

(メール入力時の表示)

●**記号入力ボード**
記号・絵文字を入力できます。

(メール入力時の表示)

●**区点入力ボード**
4桁の区点コードで文字を入力できます。(区点コード一覧表 ☞9-13〜9-24ページ)

入力できる文字と入力ボード

入力できる文字は、入力ボードによって次のように異なります。

入力ボード	入力できる文字						
	ひらがな	カタカナ	漢字	英字	数字	記号	絵文字
50音ボード	○	○	○			○※	
タイプライタボード	○	○	○	○	○	○※	
数字入力ボード					○	○※	
記号入力ボード						○	○
区点入力ボード	○	○	○	○	○		

※ ボード上の記号を入力できます。なお、各ボードのボタンに表示される記号は、それぞれ入力できます。

Ｌモード利用時の文字入力について

■ **改行することができます。（メールの本文入力時のみ）**

文字入力中の文字入力ボードに 改行 が表示されているときに 改行 にタッチすると、カーソルの位置に改行が入力されます。

・改行が入力できるのは、50音ボード、タイプライタボード、記号入力ボード、数字入力ボード、区点入力ボードで文字を入力しているときです。
・改行は、全角１文字分に相当します。
・改行を挿入するときは、改行したい場所のすぐ後ろの文字にカーソルを合わせて 改行 にタッチしてください。

■ **定型文を挿入することができます。**

よく使われる文字や文章が定型文として登録されています。定型文は文字入力中に挿入することができます。定型文の挿入のしかたは6-40ページをご覧ください。

■ **半角カタカナや絵文字について**

メールを送信するときに相手側が「Ｌモード」利用者以外（パソコンや携帯電話など）の場合は、**半角カタカナや絵文字を使用しないでください。**相手側でうまく表示できない場合があります。

入力ボードを切り替える

操作のしかた タッチペン

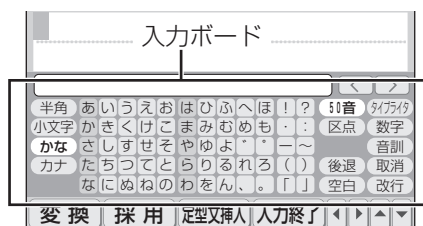
1 文字入力画面を表示する

ここでは、電話帳の登録画面を表示し、入力ボードを表示します。

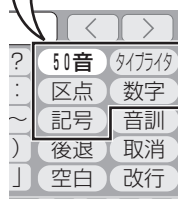
① 登録/機能 にタッチする

② ▲または▼にタッチして「電話帳」を選ぶ

③「電話帳」にもう一度タッチする

④「登録」にタッチする

2 入力ボードを切り替える

入力ボードの切替キーにタッチします。表示されている入力ボードの切替キーが水色で表示されます。

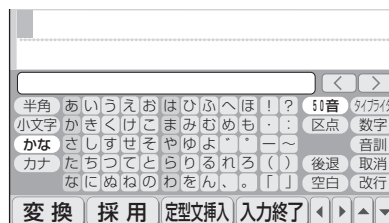
表示されている入力ボードの切替キーが水色で表示されます。

切替キー
切り替えたい入力ボードの切替キーにタッチします。
記号 キーはメールの作成時のみ表示されます。

50音ボードで入力する

50音ボードを使って文字を入力します。50音ボードでは、ひらがな、カタカナ、漢字などを入力できます。

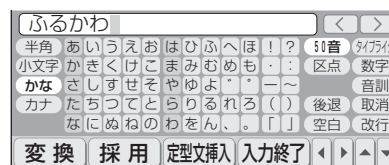
漢字を入力するときは、ひらがなを入力して漢字に変換します。
（例）古川（ふるかわ）と入力する

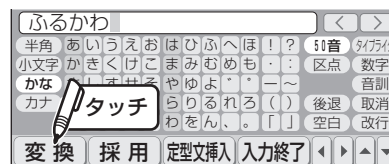
操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

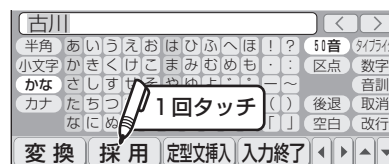
1 50音ボードを表示する
（☞1-58ページ）

2 かな が選択（水色）されていることを確認する

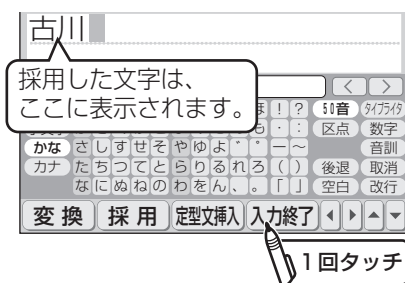
かな 以外が選択されているときは、選択されているキーにタッチして、選択を解除してください。

3 ふ る か わ と タッチする

タッチした文字が入力されます。

4 変換 にタッチする

変換 にタッチすると「ふるかわ」が変換されて「古川」と表示されます。続けて 変換 にタッチすると次の変換候補が表示されます。
変換 をタッチするごとに変換候補が表示されていきます。

5 「古川」と表示されている状態で 採用 にタッチする

変換された文字「古川」が採用されます。

6 入力終了 **にタッチする**

文字入力が完了します。

■ **入力をまちがえたときは****（☞1-64ページ）**

■ **ひらがなを漢字に変換せずに入力するときは**

1-57ページの手順3でひらがなを入力した後、採用 にタッチします。

■ 変換 **以外で変換するには**

1-57ページの手順4で 変換 の代わりに ▼ にタッチしても同じように漢字に変換できます。

■ **入力行にカーソルが表示されているときは**

入力行に表示される ▌（カーソル）は、この前に文字が入力されることを示しています。

■ **カタカナを入力するときは**

手順2で カナ にタッチして カナ（選択状態）にしてください。

また、ひらがなで入力したあと、変換 にタッチしてカタカナに変換することもできます。

■ 半角 **（選択状態）のときは**

カタカナと入力ボードに表示されている記号は、半角で入力されます。ただし、ひらがなは 半角 でも全角で入力されます。

■ **濁点（が・ガなど）を入力するときは**

文字入力後、゛ にタッチします。

■ **半濁音（ぱ・パなど）を入力するときは**

文字入力後、゜ にタッチします。

■ **小文字（っ・ッなど）を入力するときは**

小文字（選択状態）で文字を入力します。

お知らせ

- いったん採用した漢字は、同じ読みで変換すると最初の候補として表示されます。（同音語学習機能）
- 入力ボードの入力行には15文字まで入力できます。16文字目からは入力できません。長い文を入力する場合でも、数文字から10数文字を入力行に入力した後、採用 にタッチして採用し、入力行を空にすることをおすすめします。

連文節を変換し別の漢字に変換する

複数の文節の読みを入力して変換することができます。
正しく変換されている先頭の文節から採用し、変換し直す文節を入力行の先頭に表示し、もう一度変換します。
変換する文節の区切りを変えるときは、次ページをご覧ください。

（例）「さとしにふくをかう」を「悟に服を買う」に変換する

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 ひらがなで「さとしにふくをかう」を入力する
（☞1-59～1-60ページ）

2 変換 にタッチする

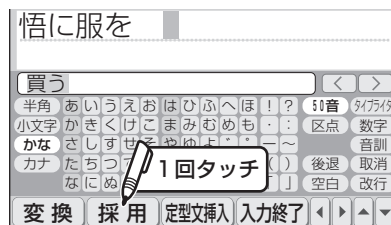
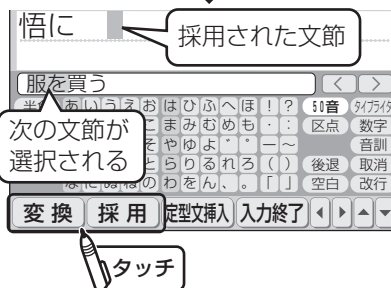
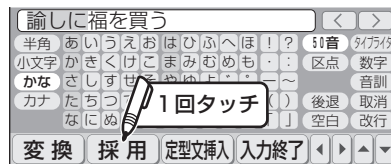
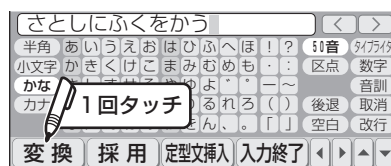
3 変換 にタッチし、「諭しに」を「悟に」に変換し、採用 にタッチする

●変換中の文節が採用されます。

4 採用 にタッチする

●正しく変換された文節（「悟に」）が採用されます。

5 同じようにして残りの文節も変換し採用する

●この場合「買う」は正しいので 採用 にタッチします。

文節の区切りを変えて変換する

文節の区切りをまちがえて変換したときは、変換する読みの範囲を変えて（ひらがなに戻して）変換します。

（例）「きかくしょていあん」と入力して変換した「企画諸提案」の文節区切りを変えて、「企画書提案」に変更する

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 **ひらがなで「きかくしょていあん」を入力する**
（☞1-59〜1-60ページ）

2 変 換 **にタッチする**

3 ＞ **にタッチし、ひらがなにする**

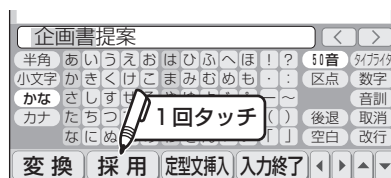
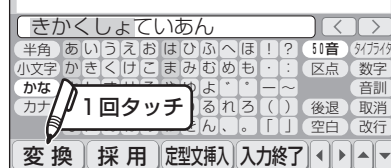
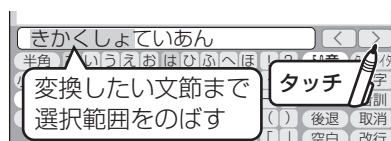
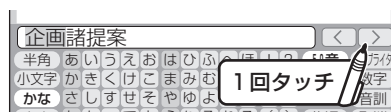
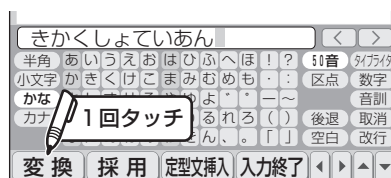
●文節を縮めるには ＜ にタッチします。

4 **もう一度** ＞ **にタッチして文節をのばす**

5 変 換 **にタッチする**

6 採 用 **にタッチし、正しく変換された文節（「企画書」）を採用する**

7 **同じようにして残りの文節も区切りを変更し、変換し採用する**

●この場合「提案」は正しいので 採 用 にタッチします。

お知らせ

● 以前区切りを変えて変換していると、最初に表示される文節が違うことがあります。これは、一度区切りを変えて変換した文節を優先して採用できるようにしているためです。いったん採用した文節は、同じ読みで変換すると、最初の候補として表示されます。

音読み／訓読みから漢字に変換する

変換 に数回タッチしても入力したい漢字が見つからないときは、音訓 にタッチして音訓変換します。
（例）「かい」を入力し「改」に音訓変換する

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

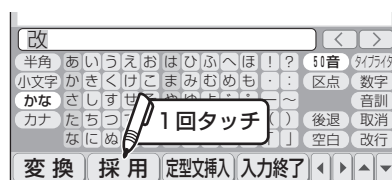
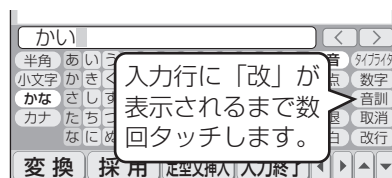
1 ひらがな（「かい」）を入力し、音訓 にタッチする

●入力した漢字の音読み／訓読みに相当する漢字が表示されます。

2 「改」が表示されるまで 音訓 に数回タッチする

● 音訓 にタッチするごとに別の変換候補が表示されます。

3 採用 にタッチする

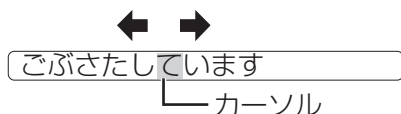
● 採用 にタッチすると「改」が採用されます。

お知らせ

● 以前別の漢字に変換していると、同音語学習機能により、最初に表示される漢字が変わることがあります。（☞ 1-60ページ）

文字を修正する

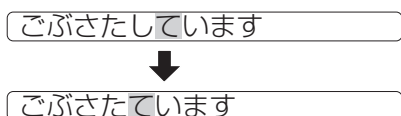
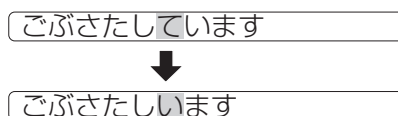
入力行に入力された文字や採用した文字を修正するときは、カーソルを修正する文字の後または、修正する文字に移動し、後退 や 取消 にタッチして削除して、新しい文字を入力します。

■ カーソルを移動する

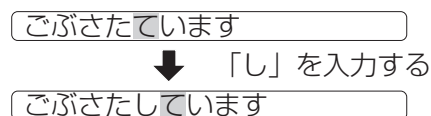
◀ または ▶ にタッチしてカーソルを移動します。
◀ にタッチすると左に移動、▶ にタッチすると右に移動します。

■ 文字を削除する

後退 にタッチするとカーソルの前の文字、 取消 にタッチするとカーソルの位置の文字を削除します。

● 後退 にタッチする
ごぶさたしています
↓
ごぶさたています

● 取消 にタッチする
ごぶさたしています
↓
ごぶさたしいます

■ 入力中に文字を挿入する

挿入したい位置にカーソルを移動し、文字を入力します。カーソルのあった文字の手前に、いま入力した文字が挿入されます。挿入した後は、いま入力した文字の位置にカーソルがあります。修正が終わったらカーソルをもとの位置に戻します。

ごぶさたています
↓ 「し」を入力する
ごぶさたしています

お知らせ

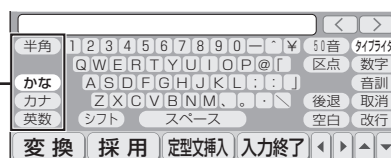
● 入力行に文字がないときに、後退 または 取消 にタッチすると、採用された文字が削除されます。

タイプライタボードで入力する

タイプライタボードでは、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字、などを入力できます。ひらがな、カタカナはローマ字で入力します。
ひらがなを漢字に変換する方法は50音ボードと同じです。くわしい変換方法は1-59〜1-60ページをご覧ください。
（例）ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号を入力する

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 タイプライタボードを表示する（☞ 1-58ページ）

2 入力する文字の種類にタッチして選択する

入力する文字の種類にタッチします。

半角（選択状態）… 半角文字が入力できます。
かな（選択状態）… ひらがなが入力できます。
カナ（選択状態）… カタカナが入力できます。
英数（選択状態）… 英数字が入力できます。

3 キーボードにタッチし、ひらがな、カタカナ、英数字などを入力する。この後、必要に応じて 変換 にタッチして漢字に変換し 採用 にタッチして採用する

●くわしくは、次ページの「入力方法」をご覧ください。

■ 入力方法

入力文字	入力方法	入力例
英字	英数（選択状態）、英字入力	WHO → 英数 W H O
英小文字	英数 小文字（選択状態）、英字入力	box → 英数 小文字 b o x
数字	英数（選択状態）、数字入力	987 → 英数 9 8 7
ひらがな	かな（選択状態）、ローマ字入力	うみ → かな U M I
カタカナ	カナ（選択状態）、ローマ字入力	イス → カナ I S U
小文字（っ、ッ）	X 、ローマ字入力	おっ → かな O X T U
長音符（ー）	かな カナ（いずれか選択状態）ー	スー → カナ S U ー
半角文字、数字	半角（選択状態）、文字・数字入力	ｲｽ → カナ 半角 I S U
		DOG → 英数 半角 D O G
		345 → 半角 3 4 5
ハイフン	英数（選択状態）ー	－ → 英数 ー
句読点（、。）	かな カナ（いずれか選択状態）、。	、。 → 、。

お知らせ

● 半角文字は、半角（選択状態）で連続して入力できます。全角に戻すには、半角にタッチし、普通の表示に戻します。
● 英小文字は、小文字（選択状態）で連続して入力できます。大文字に戻すには、小文字にタッチし、普通の表示にします。
● 半角を選んでも半角のひらがな、1文字で濁点や半濁点を含んだ半角のカタカナ（「ﾀﾞ」など）は入力できません。
● シフト（選択状態）で、数字などにタッチすると、次のように記号を入力できます。

シフト（選択状態）で、タッチするボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	―	@	;	:	、	。	・	＼	0	ˆ	¥	「	」
入力される記号	!	”	#	$	%	&	’	(	)	=	‘	+	*	<	>	?	_	￣	～	｜	{	}

● ローマ字かな変換について
・ローマ字のつづりは、「ローマ字→かな変換表」（☞1-67ページ）を参照してください。
・「ん」「ン」は、N の後に X にタッチ、または N に2回タッチします。
・X に続けて A や I にタッチすると、小文字の「ぁ」や「ぃ」が入力されます。「ぅ」「ぇ」「ぉ」「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」「ゎ」「ヵ」「ヶ」も同様です。

ローマ字→かな変換表

タイプライターボードでひらがな、カタカナを入力するときは、下の表にしたがって、（かな）を選んだ状態でアルファベットを入力します。

あア行	A	I（YI）	U	E	O
かカ行	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さサ行	SA	SI SHI	SU	SE	SO
たタ行	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
なナ行	NA	NI	NU	NE	NO
はハ行	HA	HI	HU FU	HE	HO
まマ行	MA	MI	MU	ME	MO
やヤ行	YA		YU		YO
らラ行	RA	RI	RU	RE	RO
わワ行	WA XWA	WYI（ゐ）		WYE（ゑ）	WO（を）
んン	N	NN	NX		

がガ行	GA	GI	GU	GE	GO
ざザ行	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だダ行	DA	DI	DU	DE	DO
ばバ行	BA	BI	BU	BE	BO
ぱパ行	PA	PI	PU	PE	PO

きゃキャ行	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃシャ行	SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO
ちゃチャ行	TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
にゃニャ行	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃヒャ行	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃミャ行	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃリャ行	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃギャ行	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃジャ行	ZYA JA JYA	ZYI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
ぢゃヂャ行	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃビャ行	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃピャ行	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
いぇイェ行				YE	
くぁクァ行	QA KWA QWA	QI KWI QWI	QU KWU QWU	QE KWE QWE	QO KWO QWO
ぐぁグァ行	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
つぁツァ行	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃテャ行	THA	THI	THU	THE	THO
でゃデャ行	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ふぁファ行	FA	FI		FE	FO
ふゃフャ行	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
うぁウァ行	WHA	WI		WE	WHO
とぁトァ行	TWA	TWI	TWU	TWE	TWO
どぁドァ行	DWA	DWI	DWU	DWE	DWO
ヴぁヴァ行	VA	VI	VYU	VE	VO

■ 撥音（はつおん）の入力

・"ん、ン" の次に母音または "Y" がくるときや "ん、ン" で終わるとき "N" の後に "X" を入力します。
ほんやく → HONXYAKU（HONNYAKU）
はんい → HANXI（HANNI）
ほん → HONX（HONN）

・上記以外のとき
ほんき → HONKI

■ 促音の入力

"N" と "Y" 以外の子音を重ねます。
けっか → KEKKA
トップ → TOPPU

■ 特殊な表現の入力

ヴュ → VYU

■ 小さい文字（ァ、ィ、ゥ、ェ、ォ、ヵ、ヶ、ッ、ャ、ュ、ョ、ヮ）の単独入力

・"X" または "L" の次に、それぞれの文字を入力します。
ティータイム → TEXI-TAIMU
トップ → TOXTUPU

・"ヵ" と "ヶ" はカタカナで入力されます。

数字入力ボードで入力する

数字入力ボードでは、表示されている数字や記号が入力できます。

※入力画面によって表示されるキーは異なります。

お知らせ

● 数字を入力して 変 換 に数回タッチすると、漢数字に変換することができます。
（例）「345」 変 換 「三四五」 変 換 「三百四十五」 変 換 「参百四拾五」

区点入力ボードで入力する

区点コードから文字・記号・絵記号が入力できます。読みのわからない漢字などを入力するときに使います。
4桁の数字（区点コード）を入力すると、対応する文字などが入力されます。
区点コードと対応する文字は、区点コード一覧表（☞9-13～9-24ページ）をご覧ください。

※入力画面によって表示されるキーは異なります。

記号入力ボードで入力する

記号入力ボードでは、絵文字や記号が入力できます。メールの作成時のみ使用できます。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

1 記号入力ボードを表示する
（☞1-58ページ）

2 入力する文字の種類（絵文字、記号）にタッチして選択する

3 入力する文字にタッチして決定する
表示されていない文字を入力するときは、∧ または ∨ にタッチして、表示させる

■ **入力できる絵文字一覧**

■ **入力できる記号一覧**

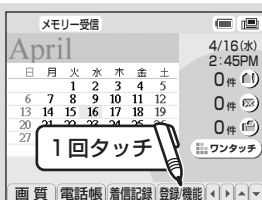
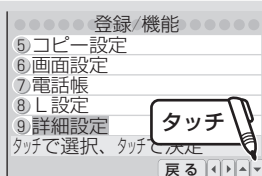
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪
⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡ
ⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢
㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫
㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝
〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲
㈹㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥
∠∟⊿∵∩∪

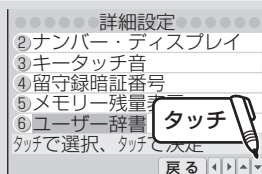
※ 絵文字および記号は、メールの作成時のみ使用できます。
また、絵文字および記号は、全角1文字に相当します。

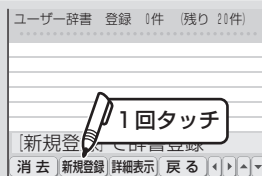
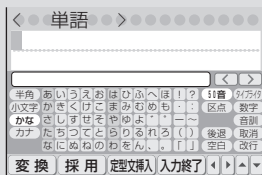
ユーザー辞書に登録する

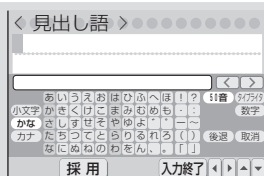
よく使う単語をユーザー辞書に登録しておくと、変換するとき簡単に呼び出すことができます。（子機にこの機能はありません。）最大で20件まで登録できます。

操作のしかた タッチペン 取り外してもOK！

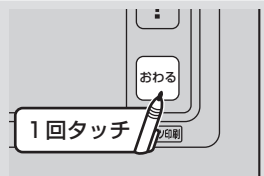
1 登録/機能 にタッチする

2 ▲または▼にタッチして「詳細設定」を選ぶ

3 「詳細設定」にもう一度タッチする

4 ▲または▼にタッチして「ユーザー辞書」を選ぶ

5 「ユーザー辞書」にもう一度タッチする

6 新規登録 にタッチする

7 登録する単語を入力する（最大全角15文字）（☞1-59〜1-69ページ）

8 入力終了 にタッチする

9 登録する見出し語を入力する（最大全角8字）（☞1-59〜1-69ページ）

10 入力終了 にタッチする

11 おわる にタッチする

■ 途中でやめるときは

おわる にタッチします。

■ 登録したユーザー辞書を消すときは

① 手順1〜5の操作を行う
② ▲または▼にタッチして消去したいユーザー辞書を選ぶ
③ 消去 にタッチする
④ もう一度 消去 にタッチする
⑤ おわる にタッチする

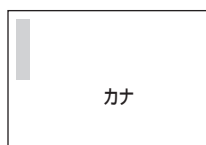
■ 登録したユーザー辞書を修正するときは

① 手順1〜5の操作を行う
② ▲または▼にタッチして修正したいユーザー辞書を選ぶ
③ 詳細表示 にタッチする
④ 修正 にタッチする
⑤ 単語を修正する
⑥ 入力終了 にタッチする
⑦ 見出し語を修正する
⑧ 入力終了 にタッチする
⑨ おわる にタッチする

子機で文字を入力する

子機ではカナ/キャッチボタンで文字の種類を替えて
ダイヤルボタンで入力します。

文字の種類（入力モード）を選ぶ

1 カナ/キャッチボタンを押すたびに文字の種類が切り替わる

2 文字の種類を選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選ぶ（☞1-72ページ）

［カナ］モード
ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表（☞1-72ページ）のカタカナが表示されます。

［英］モード
ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表（☞1-72ページ）の英字が表示されます。

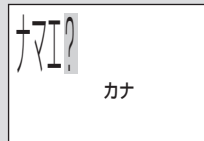
［表示なし］モード
ダイヤルボタンに表示されている数字が入力できます。

文字入力一覧表

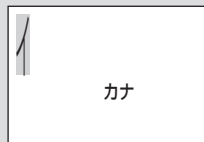
入力モード／入力ボタン	カタカナ [ｶﾅ]	英字 [英]	数字 [表示なし]
1 ア	アイウエオ ァィゥェォ	無効	1
2 カ ABC	カキクケコ	ABC abc	2
3 サ DEF	サシスセソ	DEF def	3
4 タ GHI	タチツテト ッ	GHI ghi	4
5 ナ JKL	ナニヌネノ	JKL jkl	5
6 ハ MNO	ハヒフヘホ	MNO mno	6
7 マ PQRS	マミムメモ	PQRS pqrs	7
8 ヤ TUV	ヤユヨ ャュョ	TUV tuv	8
9 ラ WXYZ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	9
0 ワ 記号	ワ ヲ ン [-] [ ] (スペース)	[-] [ ] (スペース) / [ ] : , . ! ( ) & ? @	0
トーン *	無効		*
#	無効		#
スピーカーホン 発信/・。	濁点/半濁点	無効	
◁ ▷	カーソル左右移動		
内線/クリア 保留	カーソル上の 1 文字を消去		
内線/クリア 保留 を2秒以上押す	全文字消去		
カナ/キャッチ	文字の種類の切り替え		

文字を入力する

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。ディスプレイは電話帳に登録するときのものです。

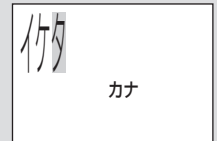
1 を押す

2 で文字の種類を選ぶ
（☞1-71ページ）

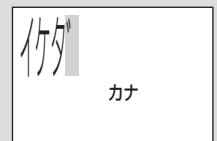
●はじめは「カナ入力モード」になっています。

3 を2回押す

●くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
の順に切り替わります。

4 を4回押す

●同じボタンを使って入力する文字（例：「ア」と「エ」、「ワ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは1文字目を入力したあと、▶を押して、カーソルを移動してから2文字目を入力します。

5 を押す

●▶を押してカーソルを移動して、文字を入力すると、その間にスペースが入ります。

6 を押す

7 機能を押す

●文字入力が終了します。

●このあと電話番号の入力画面になります。
（子機の電話帳を登録する☞2-21ページ）

■ **英字、数字を入力するときは**

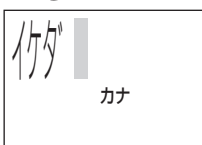
手順2で入力したい文字の種類を選んで、
手順3以降の操作をしてください。

1 ご使用の前に

子機で文字を入力する

文字を修正する

■ **文字を消すには**

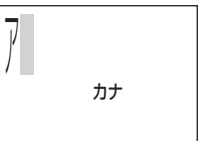
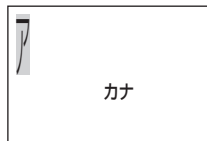
①訂正したい文字を ◀ または ▶ で選ぶ　② 内線/クリア 保留 を押す

■ **文字を入れ直すには**

①訂正したい文字を ◀ または ▶ で選ぶ　② 内線/クリア 保留 を押して文字を消す　③ダイヤルボタンで正しい文字を選んで入れる（文字の種類を替えるときは、カナ/キャッチ を押す）

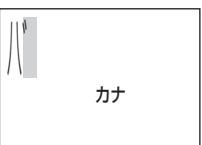
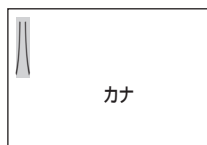
文字の入力方法

■ **同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは**

必ず ▶ を押してカーソルを移動させてから入力してください。
（例）「アイ」と入れる

① 1ア を押す「ア」　② ▶ を押す　③ 1ア を 2 回押す

■ **濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは**

濁点（゛）や半濁点（゜）をつけたい文字を入れたあと、次の操作を行います。

スピーカーホン 発信/゛゜ を押す

●くり返し押すと、（゛）と（゜）が切り替わります。

■ **スペースを入力するときは**

▶ を必要な分だけ押します。１回押せば１文字分のスペースが入ります。